付属品

●ヘッドホン・イヤホン、DVDレコーダーなどの接続コード類、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。

設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。〈 〉は個数です。

□リモコン……〈1〉
□単3形乾電池……〈2〉
（☞17ページ）
（品番：N2QAYB000443）

□B-CAS（ビーキャス）カード……〈1〉
（☞26ページ）
表面　裏面
（カードの紛失時は、☞26ページ）

□クリーニングクロス……〈1〉
●使いかたは（☞55ページ）
（品番：TXFPE01EQUJ）

□転倒・落下防止部品……〈一式〉
（☞23ページ）
ベルト……〈1〉
木ねじ……〈1〉
ねじ……〈1〉

□クランパー……〈1〉
（☞22ページ）
（品番：TXFKL010D09）

●付属品の品番は予告なく変更する場合があります。（上記品番と実物の品番が異なる場合があります。）
●付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。（サービスルート扱い）

ID番号	「B-CASカード」「ID表示」（ガイド165）で確認できる「カードID」と「デコーダー ID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID（B-CASカード番号）
		デコーダー ID

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を！　テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品　番	TH-
販売店名	☎（　）　—	お客様ご相談窓口	☎（　）　—

廃棄時にご注意願います！
家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

S0509-2069

Panasonic®

サブガイド

●ご使用前に知っていただきたいことや本機の特長などを記載しています。

取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ

品番 TH-L37R1（37V型）
TH-L32R1（32V型）

VIERA ビエラ

ガイド ? を押すだけでテレビ画面で使いかたが分かる!!
電子説明書

必ず最初に読んでください
安全上のご注意

外部機器をつなぐときは
接続ガイド

パナソニックの会員サイト**「CLUB Panasonic」**で**「ご愛用者登録」**をしてください

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●「電子説明書（VIERA操作ガイド）」および、「安全上のご注意」、「サブガイド」（本書）、「接続ガイド」、「かんたんガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（別冊）を、必ずお読みください。**
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●安全のため必ず転倒・落下防止処置をしてください。（23ページ参照）
●サブガイドは、37V型（TH-L37R1）と32V型（TH-L32R1）共用です。
●製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

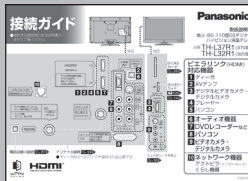
TQBA0683-1

もくじ

必ずお読みください
安全上のご注意（別冊）

テレビ画面で使いかたが分かる!
電子説明書

（もくじは6ページをご覧ください）

サブガイド（本書）

接続ガイド
（別冊）
ディーガなどを接続するとき

基本の使いかたが分かる!
かんたんガイド（別冊）

もくじ

●この取扱説明書や電子説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●この取扱説明書の説明イラストは、TH-L37R1を元に作成しています。

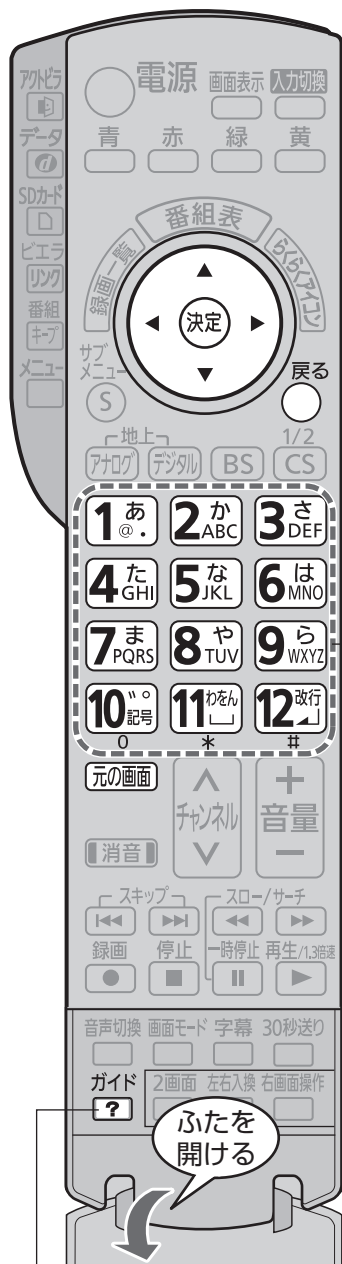
紙の取扱説明書を紛失された場合は、当社ホームページから閲覧やダウンロードができます。
（http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html）

電子説明書もくじ

ガイド ? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、テレビ画面に表示します。

電子説明書の使いかた

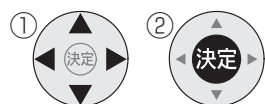
本機は電子説明書を内蔵しています。

●テレビ画面で使いかたや解説を読むことができます。

電子説明書を開く･閉じる

トップページから見る

1 テレビを見ているときに ガイド［?］を押す

●もう一度押すと、テレビ画面に戻る。

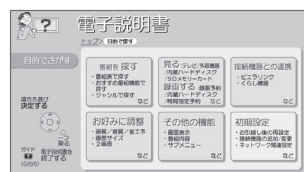
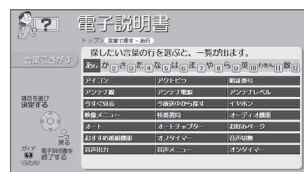
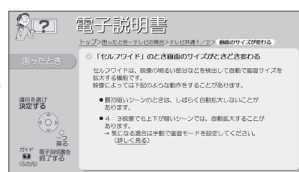
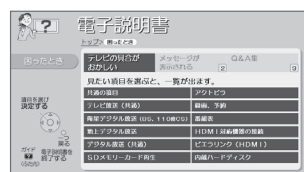
2 見たい項目を選び、「決定」を押す

●①と②を繰り返し、見たい情報を見る。

●手順番号があるときは、リモコンの数字ボタンでも選ぶことができます。（「■準備」など、手順番号のない項目は［12］を押す）

トップページ

音声ガイドを止めたいとき

3つの入り口から探すことができる

目的でさがす

言葉でさがす

困ったとき

■音声ガイドについて

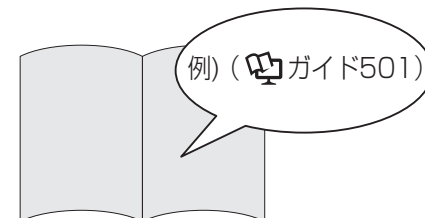
トップページと次のページでは、電子説明書の使いかたを音声ガイドでご案内します。

●音声ガイドを聞き直したいときは、［12］を押す。

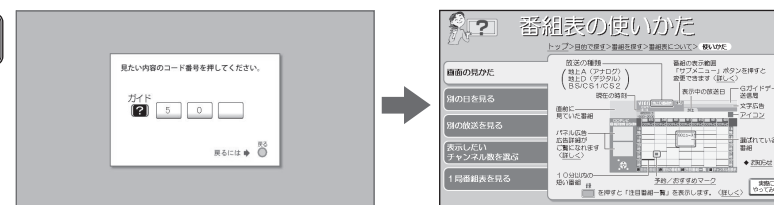
•トップページのみ、聞き直しができます。

•「音声ガイドを止める」選択時は聞き直しはできません。

見たい情報に直接飛ぶ

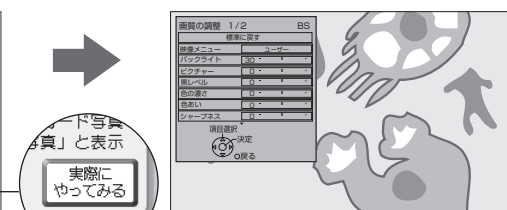
本書に「（ガイド○○○）」の記載があるときは、3桁の番号を入力すると、その情報ページを表示します。

テレビを見ているときに、「ガイド」ボタンを押してから3桁の番号を押す

ガイド ［?］ ［5］［10］［1］

●やり直すときは、「戻る」を押す。（1つ前の画面に戻る）

■テレビ画面を表示していないとき ［元の画面］を押してから、ガイド［?］を押す。

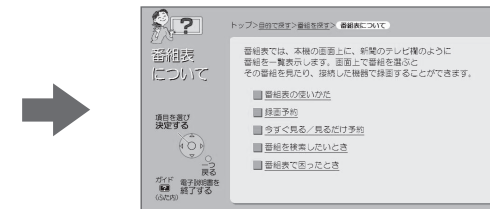
■説明を見たあと、実際に操作するには

「実際にやってみる」を選び、「決定」を押す

例：「画質の調整」画面

実際の「画質の調整」画面を表示

■操作の途中で、わからなくなったときは

操作中にガイド［?］を押す

例：番組表を出しているとき

番組表に関連した説明を表示

●「操作画面に戻る」を選ぶと、再度操作に戻ることができます。

■エラーメッセージに［?］が表示されているとき ガイド［?］を押すと、その説明を表示。

こんなことができます
基本の使いかた

電源 テレビをつける

インターネット(アクトビラ)

アクトビラ

(☞ 42ページ)

SDメモリーカードの写真やビデオを見る

SDカード

(ガイド120)(☞ 14ページ)

ビエラリンク対応機器を使う

ビエラリンク

ディーガ

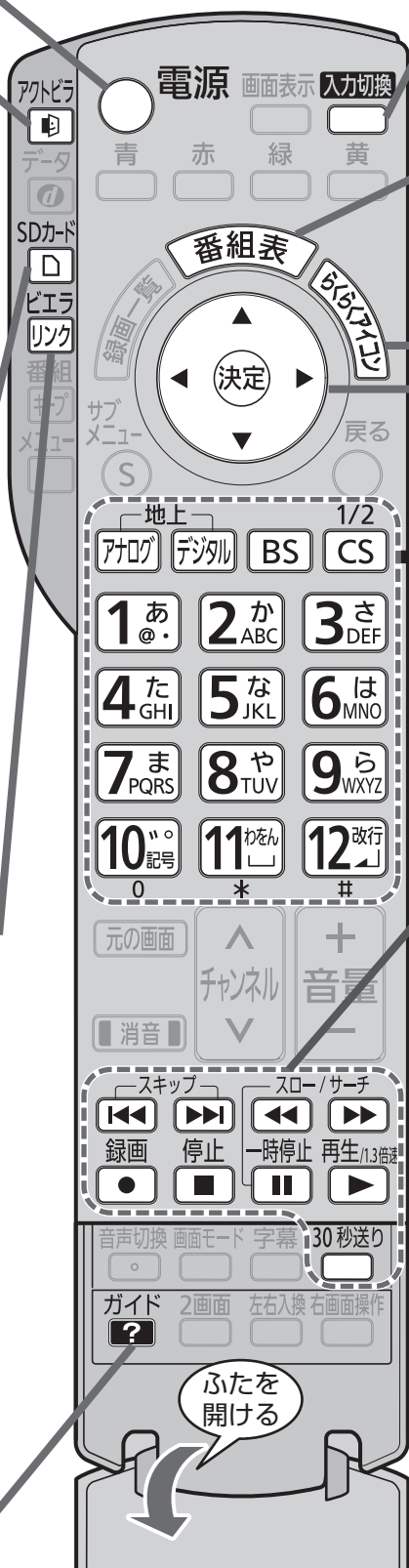
AVアンプ

デジタルビデオカメラ

デジタルカメラ

VIERA Link ビエラリンク
- ディーガの操作一覧
- ディーガに見ている番組を録画
- ディーガの録画を停止
- 音声をAVアンプから出す

(ガイド480)(☞ 12ページ)

ガイド ? 電子説明書を見る(☞ 8ページ)

DVDやビデオを見る(ガイド110)

番組表を見る

番組表

- 番組表の見かた(ガイド501)
- 番組を探す(ガイド011)
- 録画予約する(ガイド251)

らくらくアイコンを使う(下記)

画面上で選ぶ／決定する(下記)

テレビを見る(ガイド101)

地上 アナログ デジタル BS CS 1/2 放送を切り換える

1 〜 12 チャンネルを切り換える

内蔵ハードディスクを使う(見る：ガイド600 録画する：ガイド630)

● 録画する ■ 停止する ❚❚ 一時停止する ▶ 再生する

⏮ ⏭ スキップ ◀◀ ▶▶ 早送り･早戻し･スロー再生

30秒送り 30秒先を再生する

らくらくアイコンを使う(ガイド150)

画面下に表示

- ジャンル検索
- 予約一覧
- 注目番組
- ワンセグ持ち出し
- お好み録画一覧

画面上で選ぶ／決定する

上へ 左へ 右へ 下へ

決定する(次の画面へ)

こんなことができます **ビエラリンク(HDMI)を使う**

接続かんたん! 配線スッキリ!!

●詳しくは(接続ガイド1~5)

1本だけ!

●AVアンプ使用時は光デジタルケーブルが必要です。

HDMIケーブル

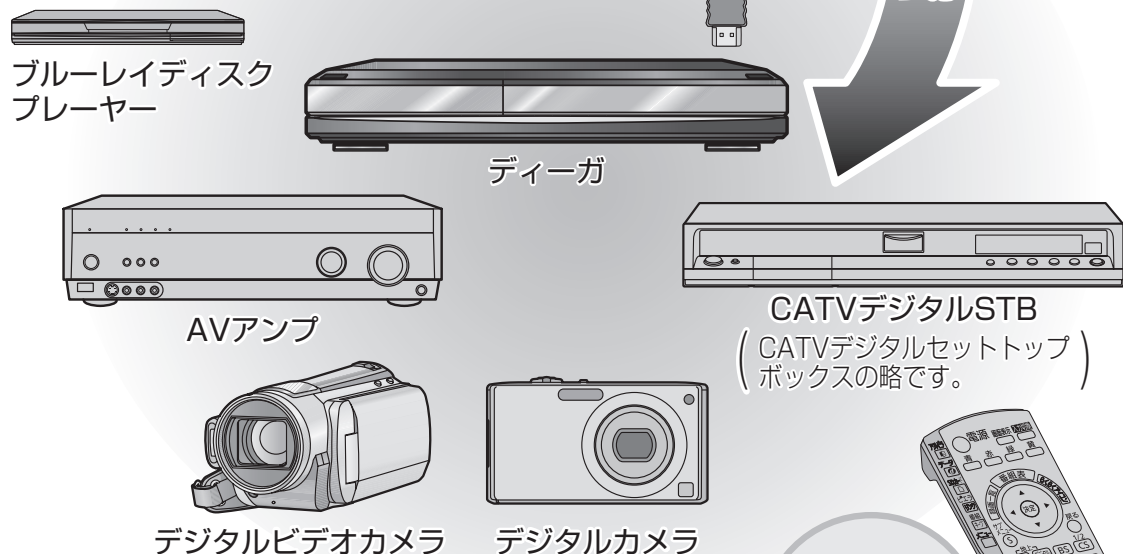
連動

ブルーレイディスクプレーヤー

ディーガ

AVアンプ

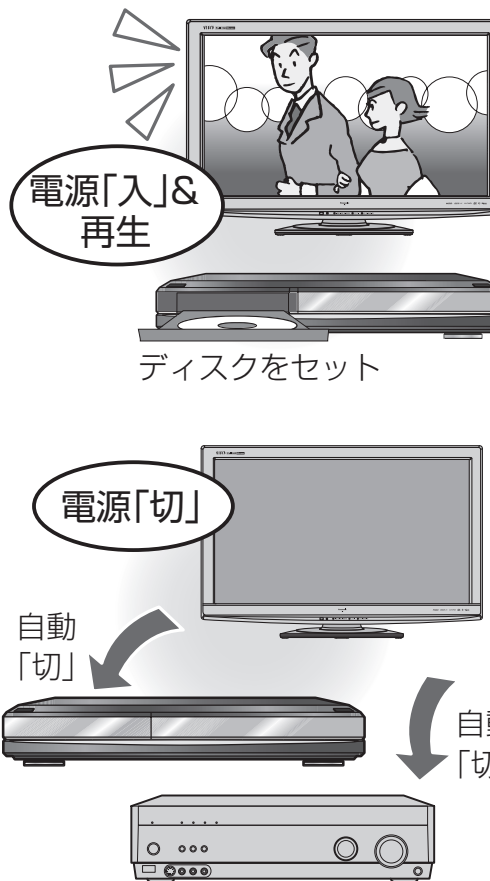
CATVデジタルSTB (CATVデジタルセットトップボックスの略です。)

デジタルビデオカメラ　デジタルカメラ

本機のリモコン1つで操作!

本機のリモコンで機器を操作(例)

ビエラリンクを押す ➡ 「ビエラリンクメニュー」から選び、「決定」を押す

VIERA Link ビエラリンク

- ディーガの操作一覧 — ディーガの画面を操作する(ガイド481)
- REC ディーガに見ている番組を録画 — ディーガに見ている番組をすぐに録画する(ガイド485)
- STOP ディーガの録画を停止
- 音声をAVアンプから出す — 音声の出力をAVアンプに切り換える(ガイド488)

連動して操作かんたん!

ディスク再生

(ガイド484)

ディーガにディスクを入れると、本機の電源が自動で「入」になり、再生が始まります。(電源オン連動「する」設定時)

一斉電源「切」(電源オフ連動)

電源「切」　自動「切」　自動「切」

本機、ディーガ、AVアンプを使用中、本機の電源を「切」にすると、すべての機器の電源も一斉に「切」になります。(設定はガイド801)

使っていない機器の電源を自動で「切」にする(こまめにオフ)
(設定はガイド801)

待機電力を最小にする(ECOスタンバイ)
(設定はガイド801)

AVアンプのリモコンで、DVDをワンタッチ再生

(ガイド491)

ビエラリンク(HDMI)設定のしかた

① メニュー を押す
②「設定する」を選ぶ
③「初期設定」を選ぶ
④「接続機器関連設定」を選ぶ
⑤「ビエラリンク(HDMI)設定」を選ぶ
⑥「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、「する」を選ぶ

●詳しくは(ガイド801)

ビエラリンク(HDMI)設定

項目		
ビエラリンク(HDMI)制御	する	しない
電源オン連動	する	しない
電源オフ連動	する	しない
ECOスタンバイ	する	しない
こまめにオフ	しない	
電源オン時の音声出力	テレビ	AVアンプ
ケーブルテレビ電源オン連動	する	しない
ディーガの操作	通常	拡大

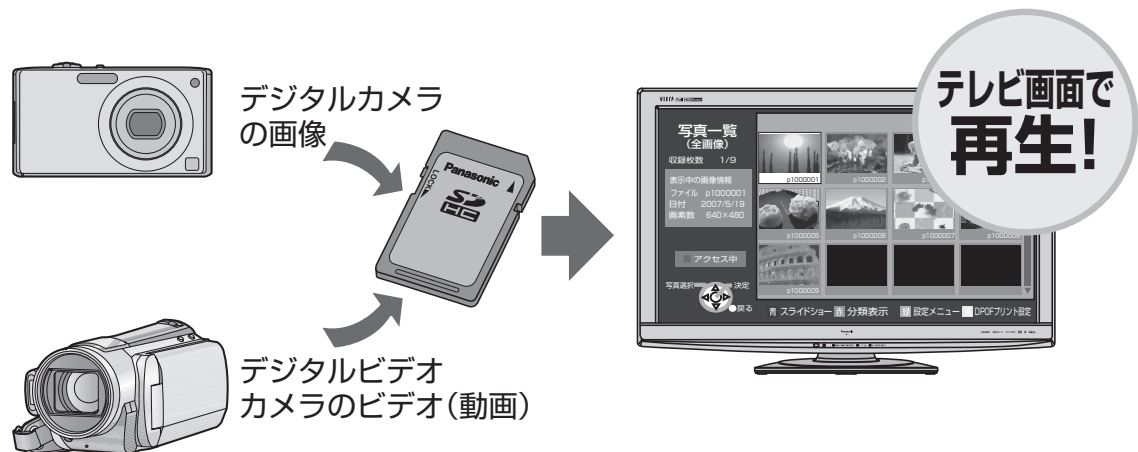
お好みで設定する

■ビエラリンクについて困ったときは 「Q&A集」(トップページから)

●ビエラリンク(HDMI)を使う

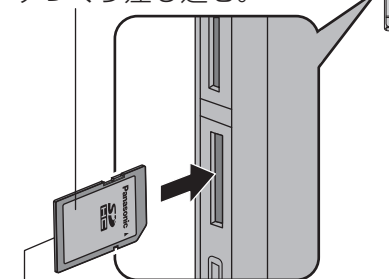
こんなことができます

SDメモリーカードを見る

SDメモリーカードの写真やビデオを見る（ガイド120）

デジタルカメラで撮影した写真（画像）や、デジタルビデオカメラで撮影したビデオ（動画）を、テレビ画面で見ることができます。

■SDメモリーカードの出し入れ

入れるとき
ラベル面を本機の前面へ向け、奥までゆっくり差し込む。

側面

取り出すとき
カードの底面の真ん中を押す。

- ●miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードは、アダプターごと出し入れしてください。
- ●SDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因となります。
- ●再生中やデータの保存中は本機の電源を切ったり、SDメモリーカードを取り出したりしないでください。SDメモリーカード内のデータが破損されたり、正常に動作しなくなる場合があります。

■プロテクトについて

書き込み禁止（LOCK）スイッチ

スイッチを「LOCK」にすると、誤消去や書き込みを防止できます。

- ●録画したワンセグ放送を持ち出すときや、プリント枚数を設定するときは、「LOCK」にしないでください。

アクトビラ／くらし機器

アクトビラ（インターネット）（☞42ページ）

情報を見る！
動画コンテンツを見る！

インターネット
動画
地図
天気
グルメ
コンテンツの一例
ブロードバンド環境

acTVila（アクトビラ）とは…

- ●インターネットを利用して情報が受けられる、デジタルテレビのしくみです。
- ●アクトビラでは、テレビ向けのコンテンツ（情報やデータ）を見ることができます。アクトビラボタンを押すと、専用のホームページ（ポータルサイト）につながります。
- ●ブロードバンド環境が必要です。
- ●本機は「アクトビラ ビデオ・フル」に対応しています。
- ●システム障害などによりコンテンツを表示できない場合があります。
- ●最新情報は、http://panasonic.jp/support/actvila/ を参照してください。

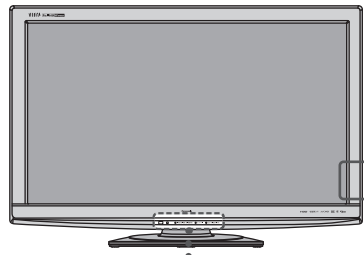
マーク、acTVila および「acTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。

くらし機器（☞41、50ページ）

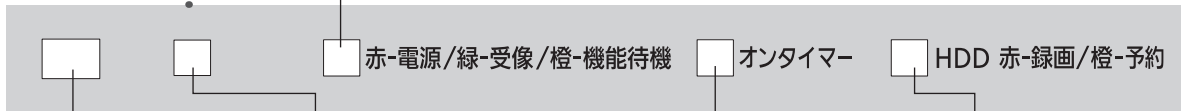
くらし機器とは…

- ●本機とLANケーブルで接続し、本機の画面で画像の確認ができる機能を持った機器です。
- ●本機にくらし機器を接続、登録すると、「ビエラリンク」メニューからくらし機器の操作などを行ったり、くらし機器からの通知を本機の画面に表示することができます。

各部のはたらき（本体）

前 面

本体の電源ボタンは右側面にあります。
（説明は下記の「側面」参照）

電源ランプ
- リモコンで電源「入」時、緑色点灯。
- リモコンで電源「切」時、赤色点灯。
  ただし、以下の場合は橙色点灯。
  - 電源オン連動「する」設定中。
  - 予約録画実行中。
  - クイックスタート「入」設定中、電源「切」にして24時間以内。
- 本体で電源「切」時に、消灯。

赤-電源/緑-受像/橙-機能待機　オンタイマー　HDD 赤-録画/橙-予約

リモコン受信部
- 正面…約7 m以内
- 左右…各約30°
- 上下…各約20°

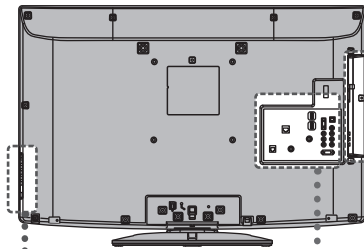
明るさセンサー
- 「明るさオート」（ガイド303）に対応して、映像を調節するための受光部。

オンタイマーランプ
- オンタイマー設定中橙色点灯。

HDDランプ
- 以下の場合は赤色点灯。
  - 録画時
  - フォーマット時
- 予約時、橙色点灯。

お知らせ
- 明るさセンサーの前にものなどを置かないでください。
  正常に動作しなくなる場合があります。

側面・背面

側面端子部（☞接続ガイド）

B-CASカード挿入口
（☞26ページ）

SDメモリーカード挿入口
（☞14ページ）
（ガイド120）

背面端子部（☞接続ガイド）

チャンネルを順に選ぶ

音量を調整する

放送を切り換える／外部入力にする

本体で「かんたん設置設定」をする（画面に従う）

電源「入」「切」ボタン
- 「入」でリモコン操作が可能。
- 本体で電源を切るときは
  （☞54ページ）

ヘッドホン／イヤホン接続端子
（ステレオ：M3プラグ）
- ビエラリンク（HDMI）でAVアンプから音声を出しているときは音は出ません。
- 2画面時は、左画面の音声が出ます。（音声出力を「右画面」に設定中は、右画面の音声が出る〈♪マークを表示〉）

（リモコン）

電子説明書の使いかた
（☞8ページ）

本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する

アクトビラを開く
（☞42ページ）

データ放送を見る
（ガイド190）

SDメモリーカードを使う
（ガイド120）

ビエラリンク対応機器を使う
（☞12ページ）

番組キープ機能を使う
（ガイド615）

メニュー画面を表示する

サブメニューを表示する

チャンネルを切り換える／文字を入力する

テレビ放送画面に戻る

チャンネルを順送りで選ぶ

音を消す
（もう一度押すと解除）

ステレオ/2カ国語などを切り換える
（ガイド316）

画面サイズを変える

電子説明書を見る
（☞8ページ）

2画面を操作する
（ガイド340）

番組のタイトルなどを表示する（ガイド451）

外部入力に切り換える
（ビデオ・DVD）（ガイド110）

画面に従って使う

番組表を見る（ガイド500）

録画一覧を表示する
（ガイド605）

らくらくアイコンを使う
（☞11ページ）

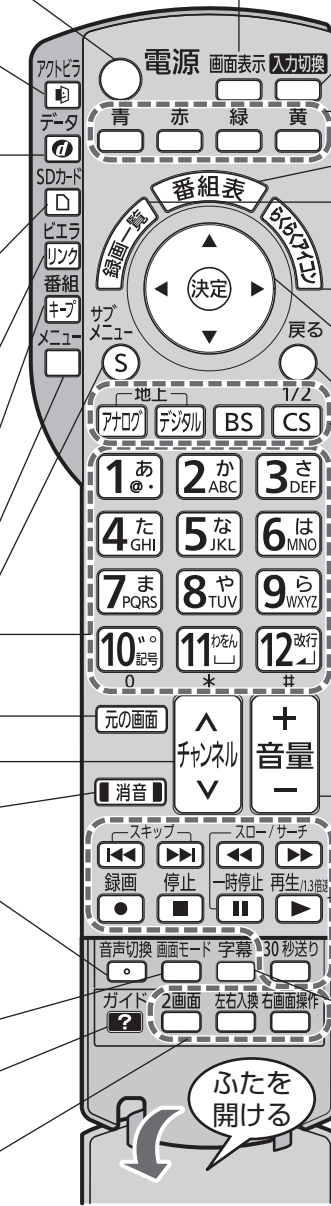
画面上で選ぶ／決定する

1つ前の画面に戻る

放送を切り換える（放送切換ボタン）
（ガイド101）
- 押すとボタンが点滅。
  （1～12を押しても点滅）
- 前回選んだボタンを記憶しています。
- 見ない放送のボタンを使えないようにできます。（地上アナログ・BS・CSのみ）（ガイド704）

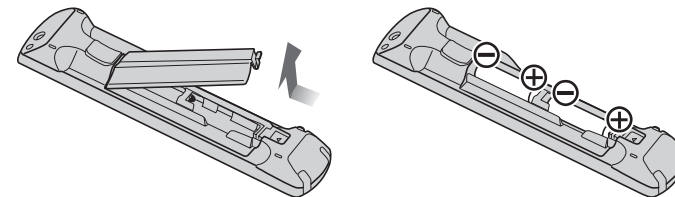
音量を調整する
（画面下に音量を表示）

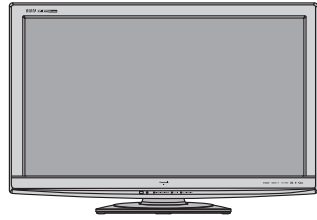
内蔵ハードディスクや、ビエラリンク接続機器を操作する
（ガイド630）

字幕を表示する
（ガイド381）

ふたを開ける

リモコンに乾電池を入れる

①ふたを開ける。

②単3形乾電池（付属品）を⊖側から入れ、ふたを閉める。

お願い
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

本機で楽しめる放送

地上デジタル放送について

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、
更にデータ放送が特長です。
現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、
それをハイビジョン化したものが中心です。（2009年5月現在）

●受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。（地上アナログ放送と方向が違う場合があります。）
●地上デジタル専用のUHFアンテナやブースター、混合器などが必要になる場合があります。（従来の地上アナログ放送用UHFアンテナでは、視聴地域の特定チャンネルに対応していることがあり、受信できない場合があります）
●受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
●放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信できるエリアが限定されます。
●放送出力が増大された場合に、受信設備（ブースターなど）の再調整、変更が必要になる場合があります。
●地上デジタル放送がケーブルテレビで 配信されている場合があります。（CATVパススルー方式）。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

お問い合わせ先

●社団法人 デジタル放送推進協会 ホームページ　http://www.dpa.or.jp
●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
0570−07−0101（ナビダイヤル）
（PHS･IP/ひかり電話のかたは03−4334−1111）
受付時間 月〜金/9:00 〜21:00、土･日･祝/9:00〜18:00

地上アナログ放送について

●従来からのVHF･UHF放送のことです。
●地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。

衛星（BS•110度CS）放送について

■BSデジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で
ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。
WOWOW（ワウワウ）などの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。
※本機では、BSアナログ放送は受信できません。

■110度CSデジタル放送

通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュースや映画、
スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！ e2」への加入申し込みと契約が
必要です。「スカパー！ e2」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

●衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は35ページを参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
●既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境･条件により受信が不安定になることがありますので、BS･110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
●本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

お問い合わせ先

●「スカパー！ e2」　公式ホームページ：http://www.e2sptv.jp/
カスタマーセンター：0570−08−1212（ナビダイヤル）
（PHS･IP電話のかたは045−276−7777）
受付時間 10:00 〜20:00（年中無休）

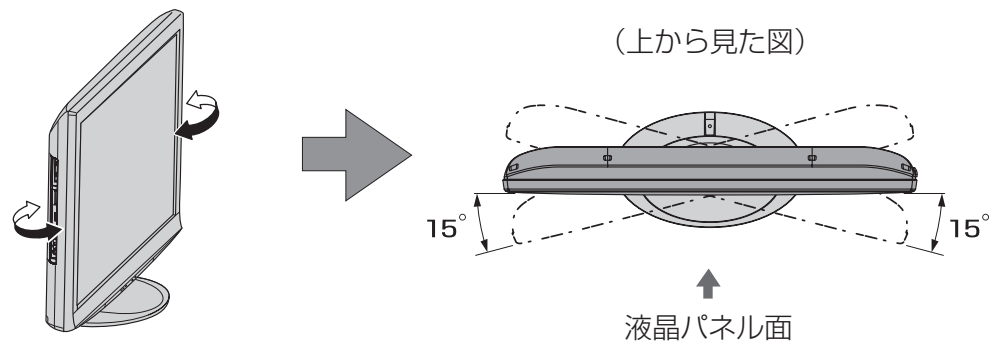
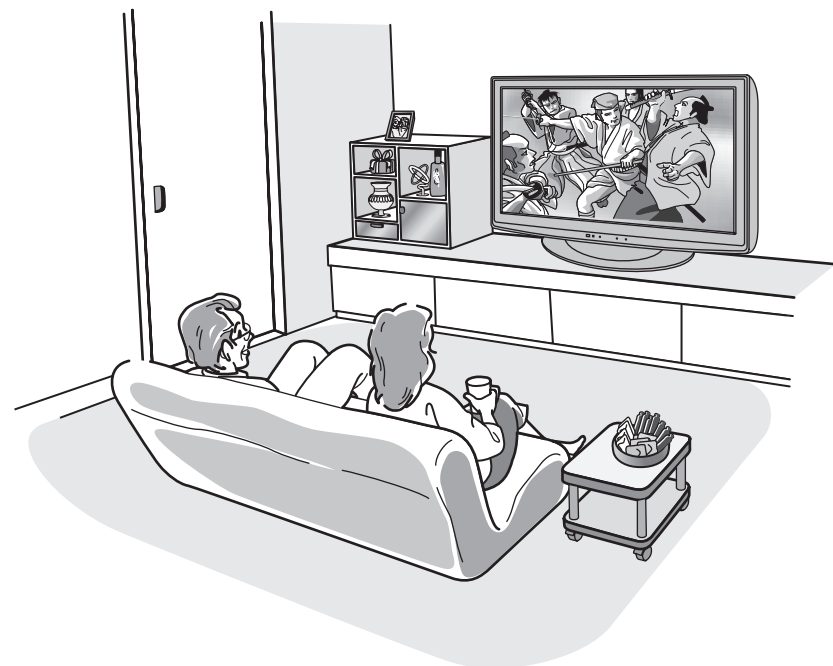
ケーブルテレビ（CATV）を受信する場合

●ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
●さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。
●詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
●地上デジタル放送がケーブルテレビで 配信されている場合があります。（CATVパススルー方式）。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

設置する（据え付け）

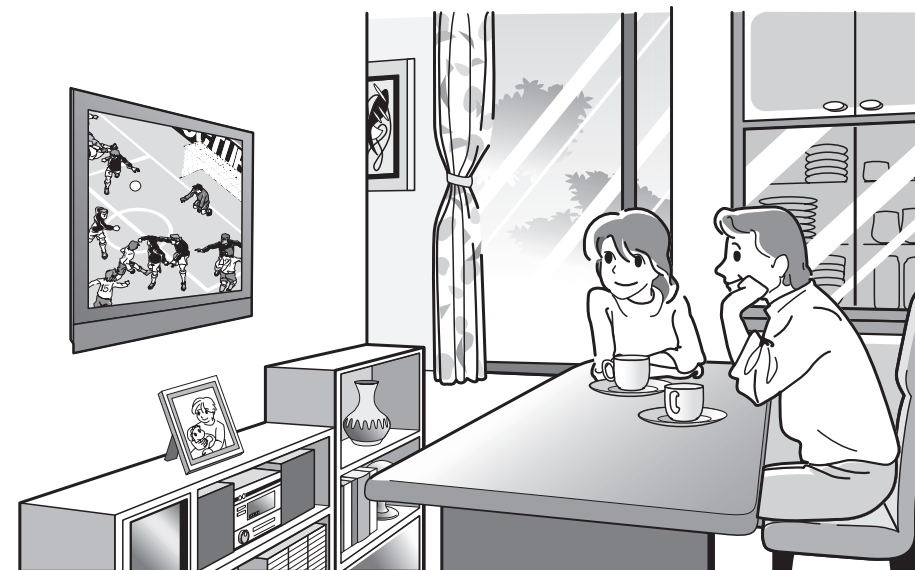
本機（スタンド付）の設置

ローボードや棚、ラックなどに設置した後でも、左右に角度を変えられます。
見やすい角度に合わせてお使いください。

お願い

- テレビ本体を左右いっぱいに回転しても、テレビ台などからはみ出さないように設置し、回転範囲内に手や物を置かないでください。
- スタンドをご使用の際は、回転時に電源コードや接続コードが断線しないように、余裕をもって配線してください。

壁掛け設置するとき（壁掛け金具）

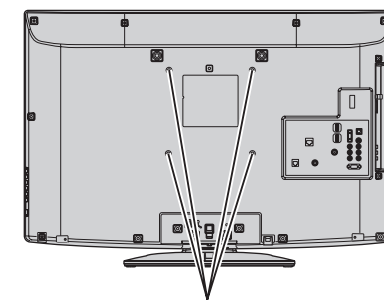
別売の壁掛け金具を取り付けて壁掛け設置することができます。
本機を設置される前に、お求めの販売店にご相談ください。

見やすい角度に合わせて、テレビを設置できます。

品　番

TY-WK3L2R （2009年5月現在）
- 37V型・32V型共用です。
  角度を0°(垂直)、下向き5°、10°、15°、20°に変えられます。

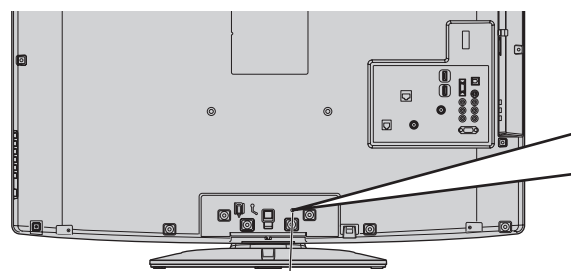
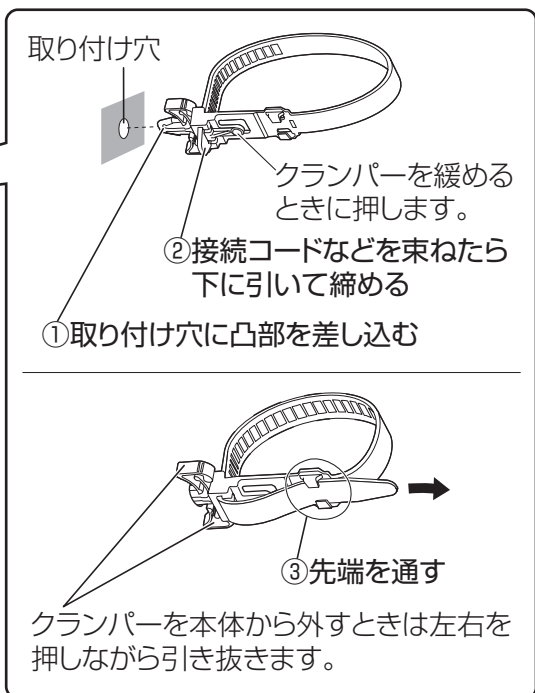
お願い

- 壁掛けの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 本機に専用壁掛け金具（別売品）を取り付ける際は、専用壁掛け金具に付属の取り付けねじをご使用ください。
- 取り外した部品類は、もとに戻される場合に必要となりますので大切に保存してください。
- 一部のHDMIケーブル（RP-CDHG80［8 m］、RP-CDHG100［10 m］）や先端部が長いパソコン用のミニD-sub15Pケーブルを使用時は、壁面にケーブル先端部が干渉し、本機の入力端子を傷めることがあります。
  このような場合は、ケーブルの先端が壁面に干渉しないよう、壁掛け金具の角度を調整してください。

<本体背面>

専用壁掛け金具取り付け用ねじ穴

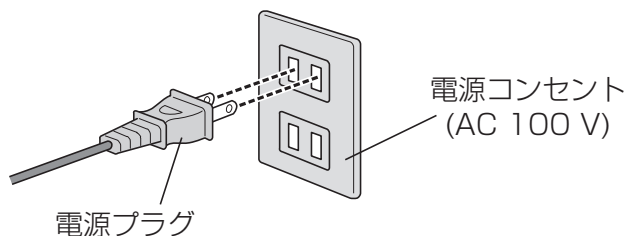
設置する（ケーブル処理・転倒防止など）

ケーブル配線処理について

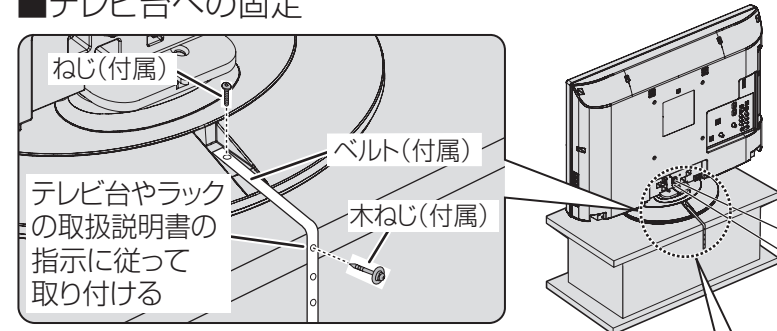
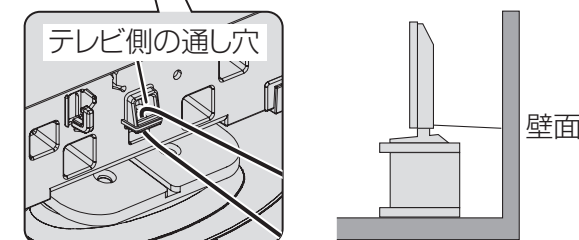
本体背面にクランパーを使ってアンテナ線、接続コードを束ねてください。

お願い

- 画面に妨害が出る場合がありますので、アンテナ線と電源コードは一緒に束ねないでください。

電源プラグについて

本機にアンテナや外部機器をすべて接続した後、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください

地震の場合などに倒れる恐れがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。
※本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。
転倒・落下防止部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
※テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

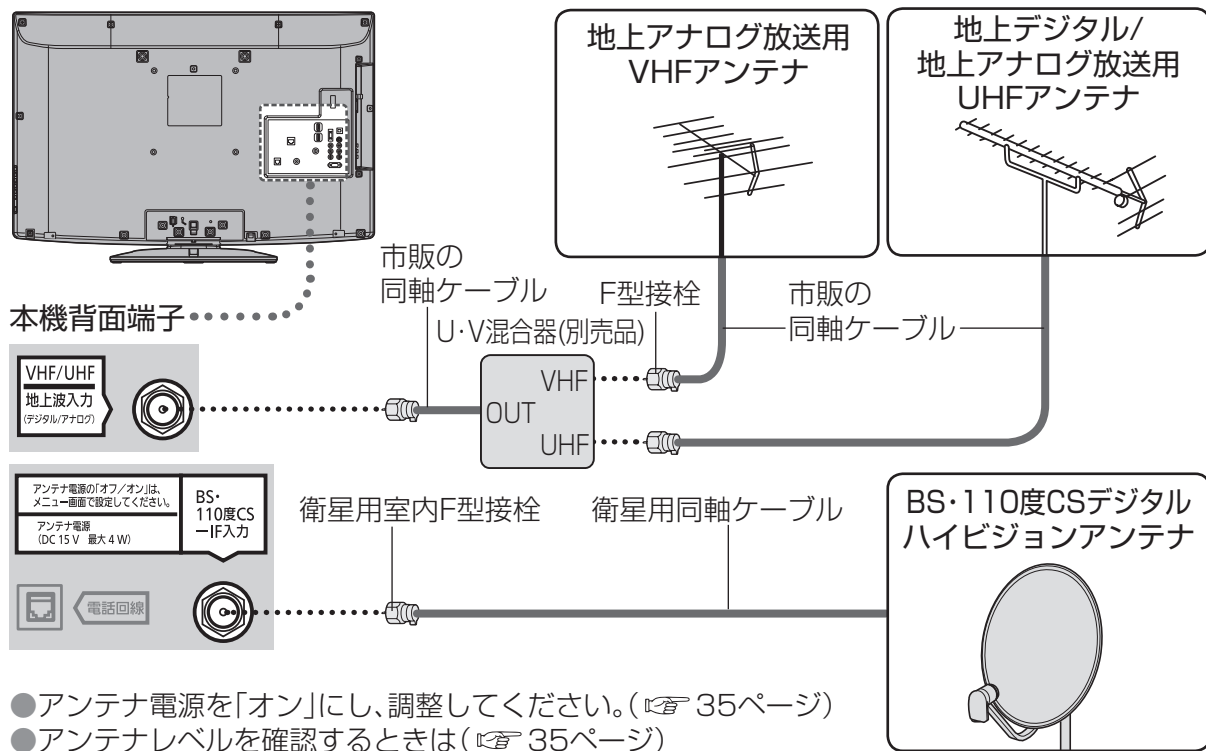
■テレビ台への固定

■壁面への固定
テレビ側の通し穴に、丈夫なひもやワイヤー（市販品）などを通して固定する

お願い

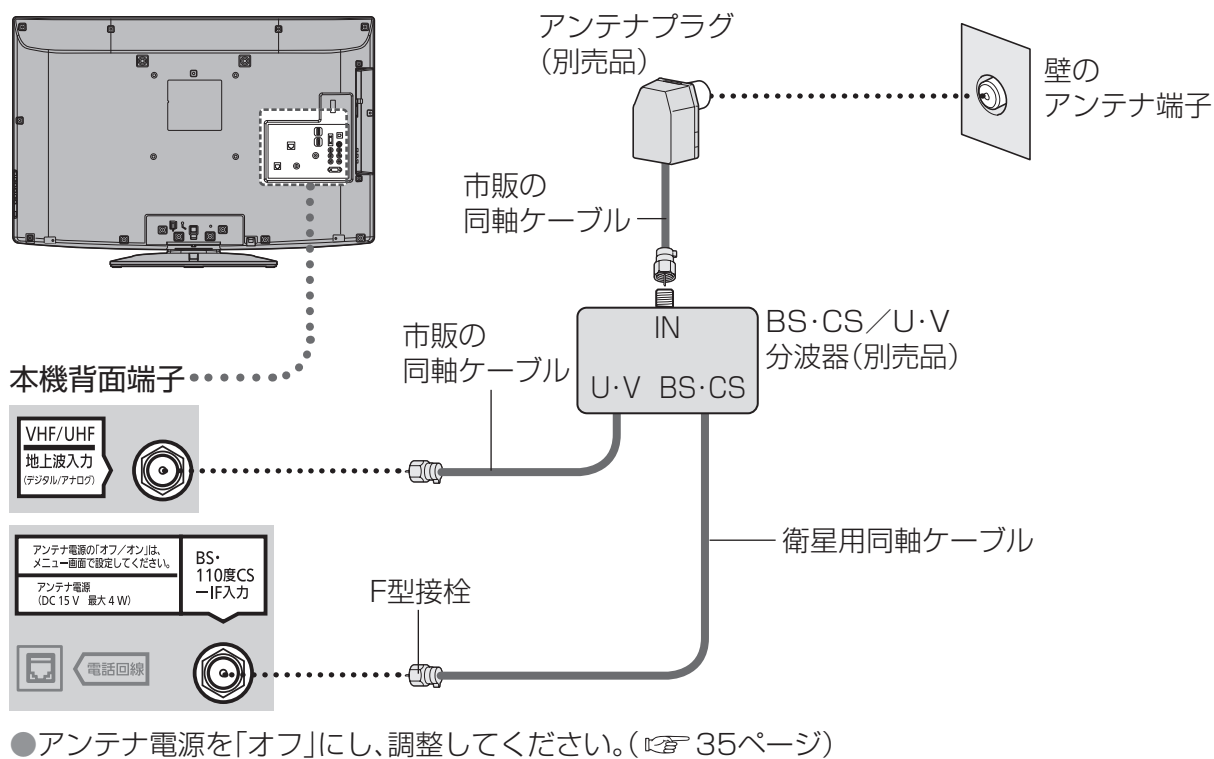
- ひもやワイヤーは、本体が回転できるように取り付けてください。

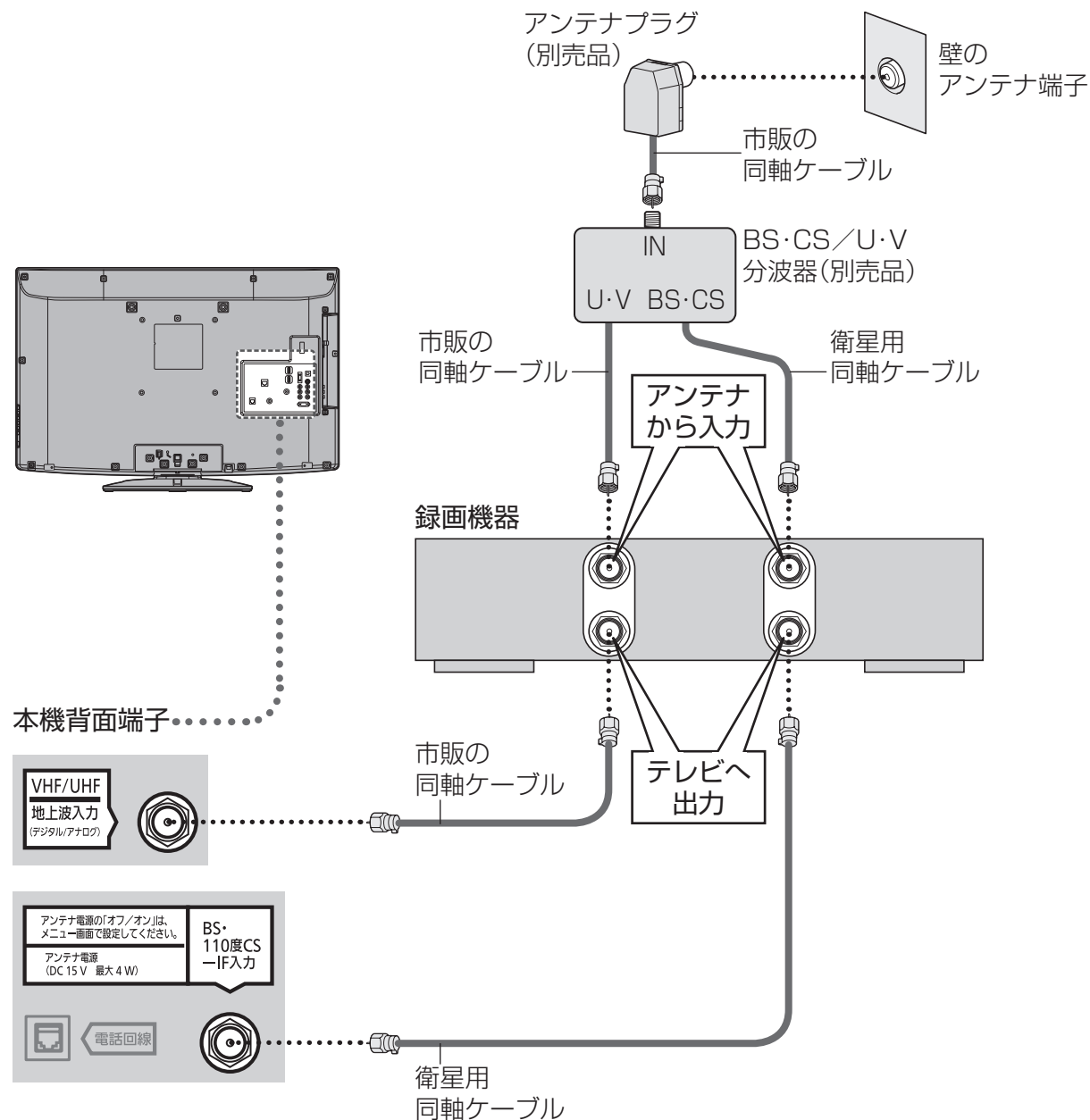
アンテナ線の接続

電子説明書の使いかた（☞ 8ページ）

ご自宅など、個別のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オン」にし、調整してください。（☞ 35ページ）
●アンテナレベルを確認するときは（☞ 35ページ）

マンションなど、共同のアンテナで受信する場合

●アンテナ電源を「オフ」にし、調整してください。（☞ 35ページ）

ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、BS·CSチューナー内蔵の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。

(お知らせ)

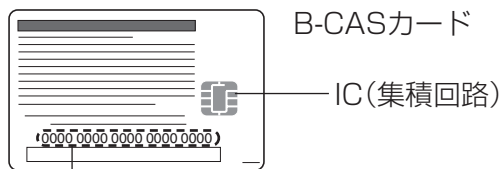
●接続図は一般的な例であり、お客様によって新たにご準備いただくもの（ケーブル·分配器·分波器·アンテナプラグなど）は変わります。詳しくは販売店へご相談ください。
●電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。（ガイド723）

B-CAS（ビーキャス）カードの挿入

- カードおよび台紙に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- **挿入しないとデジタル放送が映りません。**
- 「使用許諾約款」を、よくお読みください。

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■B-CASカードについて

- 台紙に添付されています。
  ※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記入欄にメモしておいてください。

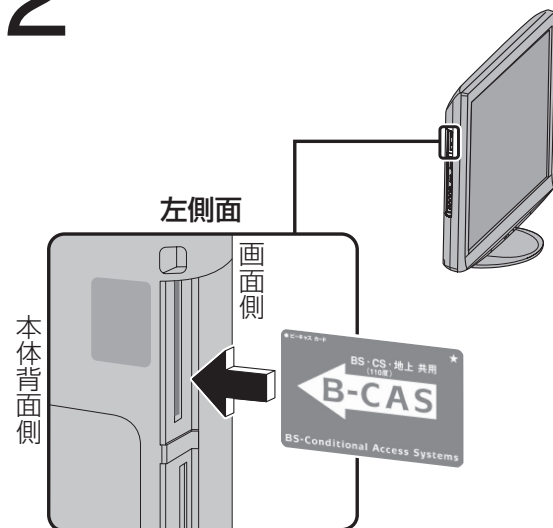
■B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

■B-CASカードについてのお問い合わせ（故障交換や紛失時など）は

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

1 本体の電源ボタンで電源を切る（☞ 16、54ページ）

2 B-CASカードを挿入する

カードの矢印表示面を背面（画面と反対側）に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■B-CASカードのテストをする（ガイド739）

- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

■B-CASカードを抜くとき

➡ （1）本体の電源ボタンを「切」にする。
（2）B-CASカードを抜く。

- B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

電話回線の接続

双方向サービスのあるデータ放送や視聴者参加番組を楽しむときに必要です。

■まず、電話回線コンセントを確認してください

- モジュラーコンセントでない場合は工事が必要です。

例：埋込み型プレートのとき

■工事をされる場合は

- 電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。ご購入の販売店もしくはNTT営業所へご相談ください。

■次の電話回線には接続できません

- ISDN回線（ただし、ISDNのターミナルアダプターにアナログポートがあれば接続できます）
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- 「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線。
- ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線。（主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続）

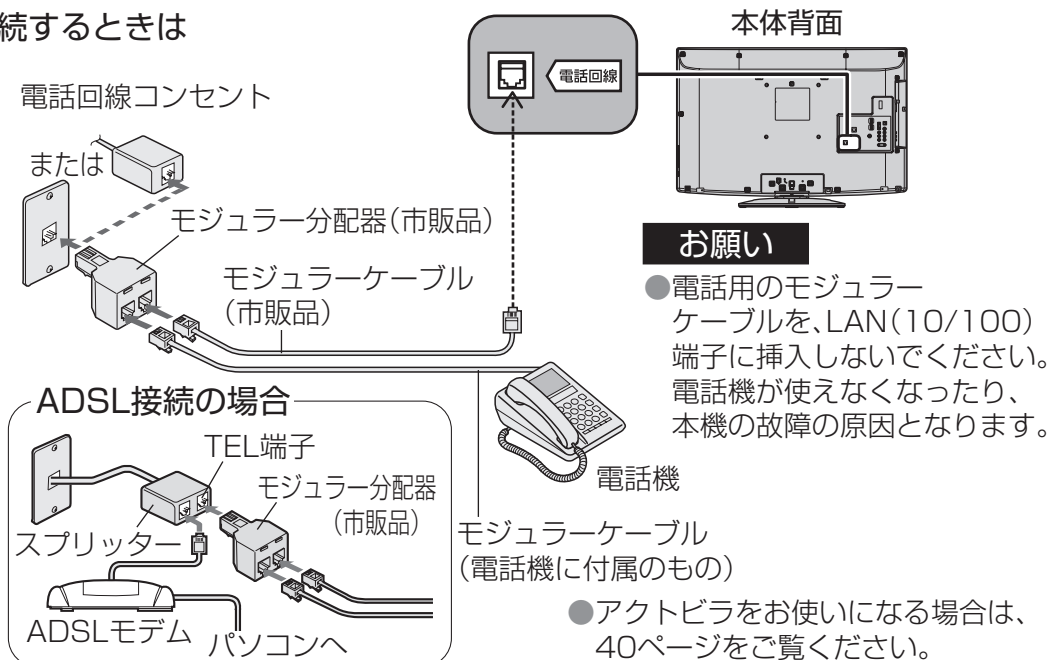
■光IP電話をお使いの場合

- 光IP電話では、データ放送の双方向サービスが利用できない場合があります。詳しくは、ご契約のIP電話業者に問い合わせください。

■接続するときは

お願い

- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN（10/100）端子に挿入しないでください。電話機が使えなくなったり、本機の故障の原因となります。

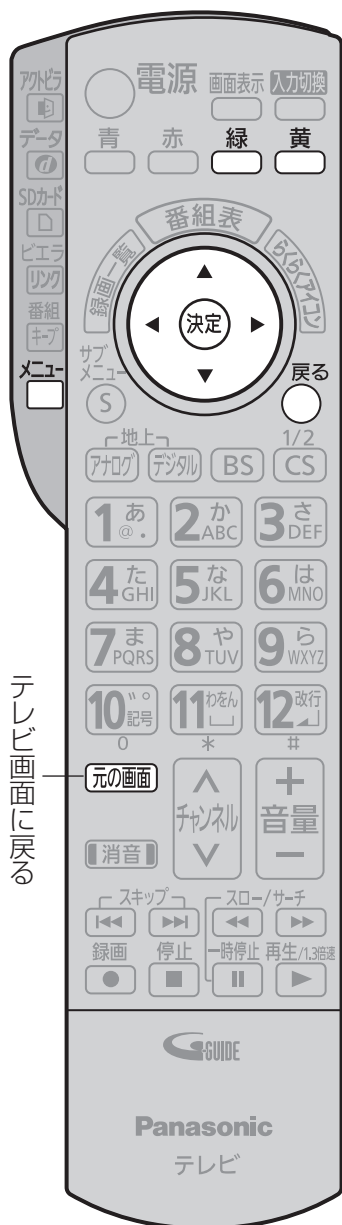
- アクトビラをお使いになる場合は、40ページをご覧ください。

■接続上のお願い

- モジュラー分配器について
  - 本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
  - 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。
- モジュラーケーブルについて
  - 設置場所によっては壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮してください。
  - 市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
- ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合は、「回線設定」で「プッシュ」を選んでください。（ガイド726）

設置設定をやり直す かんたん設置設定

電子説明書の使いかた（☞8ページ）

こんなときに…

●引っ越しなどでテレビ放送の受信地区が変わったとき、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直します。

画面に従って順に設定する

1 メニュー を押す

2 「設定する」を選び、「決定」を押す

VIERA メニュー
- 画質を調整する
- 音声を調整する
- 番組の内容を見る
- 番組を探す/予約する
- **設定する**
- 機器を操作する

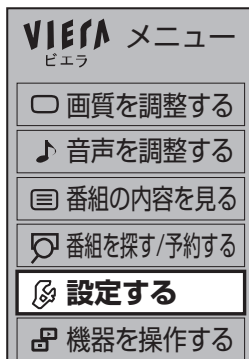
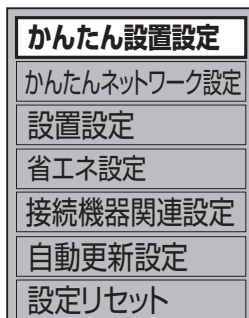
3 「初期設定」を選び、「決定」を押す

- 画面の設定
- システム設定
- **初期設定**

4 「かんたん設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す

（3秒以上）

- **かんたん設置設定**
- かんたんネットワーク設定
- 設置設定
- 省エネ設定
- 接続機器関連設定
- 自動更新設定
- 設定リセット

初期設定画面

5 画面の指示に従って操作する

■お買い上げ時の状態からやり直すとき

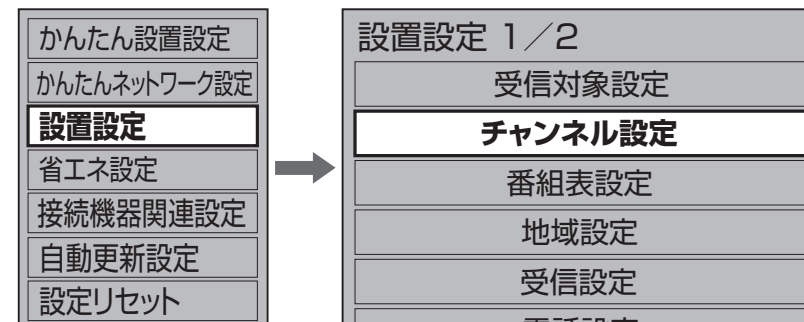
①「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
②確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す。
③本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

■ネットワークの設定をやり直すとき

手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、画面に従う。

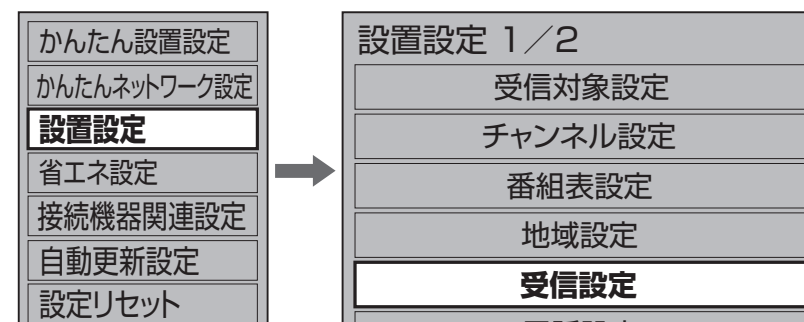
個別にやり直すとき

■チャンネル修正（☞30ページ）

かんたん設置設定でうまくできなかったときや、リモコンの数字ボタンへの割り当てなどを、お好みで変えたいときに行います。
衛星デジタル放送のチャンネルは工場出荷時に設定されますがお好みで変更できます。

初期設定画面

●地上アナログ放送のチャンネル修正（☞30ページ）
●地上デジタル放送のチャンネル修正※（☞32ページ）
●衛星デジタル放送のチャンネル修正（☞33ページ）

■受信設定（個別アンテナ使用時）（☞34ページ）

アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとにアンテナレベル（受信する電波の質）を確認できます。

初期設定画面

●地上デジタル放送の受信設定（☞34ページ）
●衛星デジタル放送の受信設定（☞35ページ）

■アッテネーター

放送の電波が強すぎるとき、弱めて安定させます。
●地上アナログ放送／地上デジタル放送（ガイド723）

■上記以外の項目

電子説明書をご覧ください。（ガイド703）

※新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変化したときは、再スキャンを行ってください。（☞33ページ）

お知らせ

●地上アナログ放送のチャンネル一覧表･地上デジタル放送のチャンネル一覧表･Gガイド地域一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。
http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html を開く。
「テレビお客様サポートの取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→
テレビ品番（放送chなどの一覧表）を選ぶ

設置設定をやり直す チャンネル修正（地上アナログ放送）

まず、チャンネル設定画面を表示させる

「設定する」を選ぶ　「初期設定」を選ぶ　「設置設定」を選び　「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

地上アナログ放送のチャンネル設定（オート）

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「オート」を選び、「決定」を押す

マニュアル　オート

●自動的に設定し直します。
（数分程度、映像が乱れます）

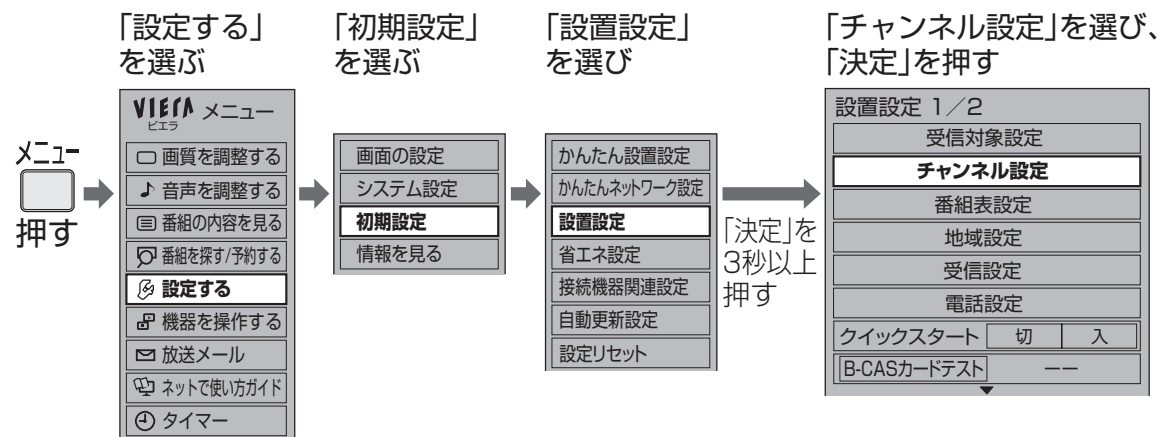
③▲▼でチャンネルを選び、内容を確認する

地上アナログチャンネル設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	ーー
2	14	14	ーー
3	3	3	ーー
4	4	4	ーー

④放送局名を設定する （☞ 次ページ手順④、⑤）

⑤ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上アナログ放送のチャンネル設定（マニュアル）

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上アナログ」を選び、「決定」を押す

チャンネル設定：地上アナログ／地上デジタル／BS／CS1／CS2

②◀ ▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

マニュアル　オート

③▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選ぶ

地上アナログチャンネル設定

リモコン	CH	表示	放送局名
1	1	1	NHK総合東京
2	14	14	MXテレビ
3	3	3	NHK教育東京
4	4	4	日本テレビ

■行ごと入れ換えたいとき

1）手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

■映りが悪いとき（微調整）

1）手順②の操作後、▲▼でチャンネルを選び、「メニュー」を3秒以上押す。
2）◀ ▶で見やすくなるように調整する。（10秒間操作しないと、元の画面に戻る）
3）「戻る」を押す。

④「決定」を押す

⑤▲▼で項目を選び、◀ ▶でそれぞれ修正する

放送局名
●◀ ▶で放送局を選ぶ。
●「決定」を押して入力モードにし、放送局コードを入力しても選ぶことができます。
（一覧表は…http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html でご覧になれます。）
（☞ 29ページ）

⑥ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

設置設定をやり直す チャンネル修正（地上デジタル放送／衛星デジタル放送）

まず、チャンネル設定画面を表示させる

メニュー 押す → 「設定する」を選ぶ → 「初期設定」を選ぶ → 「設置設定」を選び → 「決定」を3秒以上押す → 「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す

VIERA ビエラ メニュー
- 画質を調整する
- 音声を調整する
- 番組の内容を見る
- 番組を探す／予約する
- **設定する**
- 機器を操作する
- 放送メール
- ネットで使い方ガイド
- タイマー

- 画面の設定
- システム設定
- **初期設定**
- 情報を見る

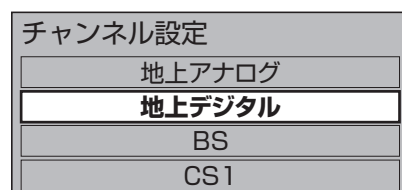
- かんたん設置設定
- かんたんネットワーク設定
- **設置設定**
- 省エネ設定
- 接続機器関連設定
- 自動更新設定
- 設定リセット

設置設定 1／2
- 受信対象設定
- **チャンネル設定**
- 番組表設定
- 地域設定
- 受信設定
- 電話設定
- クイックスタート 切 入
- B-CASカードテスト ーー

地上デジタル放送のチャンネル設定（初期スキャン）

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀で「初期スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　再スキャン　マニュアル

③◀ ▶でお住まいの地域を選び、「決定」を押す

地域選択　東京

④◀ ▶で「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

UHF　全帯域

●通常は「UHF」を選んでください。
●「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。
●今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。
●10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

⑤▲▼で内容を確認する

●修正するときは（☞ 次ページ「マニュアル」手順③）

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	ーーーー	
4	041	日本テレビ	テレビ

⑥ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

地上デジタル放送のチャンネル設定（再スキャン）

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀ ▶で「再スキャン」を選び、「決定」を押す

初期スキャン　**再スキャン**　マニュアル

●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。
●10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

③▲▼で内容を確認する

●修正するときは（☞ 下記「マニュアル」手順③）

地上デジタルチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	----	ーーーー	

④ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

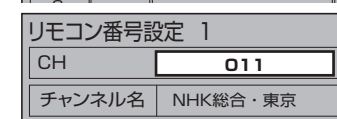
地上デジタル放送のチャンネル設定（マニュアル）

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

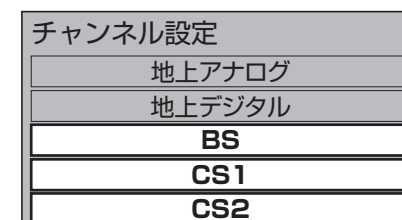
③▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

④◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

⑤ 戻る を押して終了する

■行ごと入れ換えたいとき
1）手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
2）▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
3）▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
4）「戻る」を押す。

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星デジタル放送のチャンネル設定

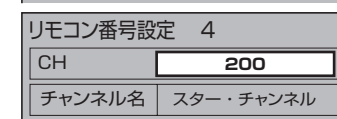
①チャンネル設定画面から▲▼で「BS」「CS1」「CS2」いずれかを選び、「決定」を押す

②▲▼で修正したい行（リモコンの数字ボタン）を選び、「決定」を押す

BSチャンネル設定

リモコン	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	141	BS日テレ	テレビ

③◀ ▶で「CH」のチャンネル番号を変える

リモコン番号設定 4
CH 200
チャンネル名 スター・チャンネル

④ 戻る を押して終了する

（終わったら 元の画面 を押す）

受信設定（地上デジタル放送／衛星デジタル放送）

まず、受信設定画面を表示させる

地上デジタル放送の受信設定

①受信設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

受信設定
- 地上アナログ
- **地上デジタル**
- 衛星

②アンテナレベルを確認する

③「物理チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

④ 1 ～ 10 で物理チャンネルを入力し、「決定」を押す

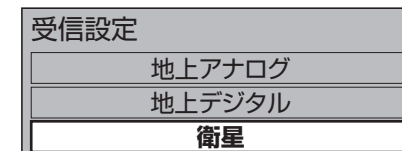
物理チャンネル入力
①~⑩、⑪ボタンを使って、物理チャンネルを2桁入力し、決定ボタンを押してください。
20CH

- CATVの「C20」チャンネルを入力するときは、「緑」ボタン 2 10 と入力する。
- 間違えたときは「黄」ボタンを押す。

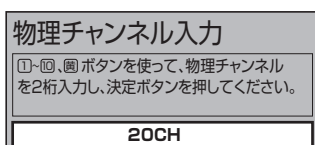
⑤アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

衛星放送の受信設定

①受信設定画面から▲▼で「衛星」を選び、「決定」を押す

②アンテナレベルを確認する

③▲▼で「アンテナ電源」を選び、▶で「オン」を選ぶ

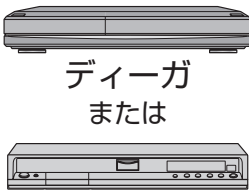
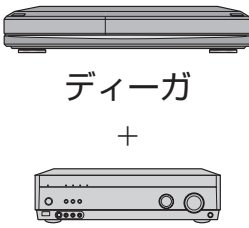
- 「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。（ブースターなどからコンバーターへの電源を供給しているときは「オフ」にしてください）
- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は変えると、視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。

④アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

（終わったら 元の画面 を押す）

■アンテナレベルについて

- アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
- アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。
- 現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。
- BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

■物理チャンネルについて

- 地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており（13～62ch）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

（お知らせ）
- アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

外部機器の接続・設定

電子説明書の使いかた
（☞ 8ページ）

ビエラリンク（HDMI）対応機器

●ビエラリンク（HDMI）とは（ガイド497）

機器	ケーブル	端子	注意	参照
ディーガ または CATVデジタルSTB	HDMIケーブル	HDMI 1	●接続後は必ずビエラリンク（HDMI）を有効にしてください。 （「ビエラリンク（HDMI）制御」ガイド801） ●最初に接続したときは「入力切換」を押して、HDMI入力に切り換えてください。 ●機器の操作をしたときに、本機の電源を「入」にするには「電源オン連動」を設定してください。 （ガイド801）	接続ガイド 1
ディーガ ＋ AVアンプ・ラックシアター		HDMI 1		接続ガイド 2
デジタルビデオカメラ デジタルカメラ	HDMIミニケーブル	HDMI 3		接続ガイド 3
プレーヤー	HDMIケーブル	HDMI 2 （ポータブルプレーヤーはHDMI 3）		接続ガイド 4
パソコン				接続ガイド 5

■HDMIケーブルについて

●当社製を推奨します。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

■HDMI端子について

●同じ種類のビエラリンク（HDMI）対応機器を複数接続した場合は、番号の小さいHDMI端子に接続された機器が、ビエラリンクの操作対象になります。

ビエラリンク（HDMI）が正しく動作しないときは

接続した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。
HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、下記の操作をしてください。

①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す

②［入力切換］を押して、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する

③本機のリモコンで機器を操作してみる（ガイド550）

お好みで設定できます「ビエラリンク（HDMI）設定」（ガイド801）

■電源オン連動
ディーガやAVアンプの操作に連動して本機の電源を入れます。

■電源オフ連動
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の電源を切ります。

■ECOスタンバイ
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の消費電力を最小にします。

■こまめにオフ
使わないときに、機器の電源を個別に自動的に切ります。

■電源オン時の音声出力
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、AVアンプに音声を出力します。

■ケーブルテレビ電源オン連動
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、CATVデジタルSTBの電源を入れます。

■ディーガの操作
ディーガ視聴中、本機のリモコンで操作できるボタンを増やします。

■テスト（ディーガ電源オン／ディーガ電源オフ）
ディーガの動作を確認できます。

（お知らせ）

●ビエラリンク（HDMI）で本機とAVアンプを接続時、ビエラリンク（HDMI）で接続した他の機器からの音声が5.1chのときは、本機のデジタル音声出力（光）端子より5.1chで出力します。（ディーガはビエラリンク（HDMI）Ver.2およびVer.3以上に対応している機種のみ対応）

外部機器の接続・設定（つづき）

電子説明書の使いかた
（☞ 8ページ）

ビエラリンク（HDMI）非対応機器

機器	ケーブル	端子	注意	参照
オーディオ機器	光デジタルケーブル（折り曲げないでください。）	デジタル音声出力（光）	●デジタル音声入力（光）端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。 ●ドルビーデジタルやAAC対応のときは「デジタル音声出力」の設定が必要です。（ガイド831）	接続ガイド 6
DVDレコーダーなどの再生機器	D端子付き：D端子映像コード、音声コード	D4映像入力 ビデオ入力 1		接続ガイド 7
	D端子なし：S映像コード、映像/音声コード	S2映像入力 ビデオ入力 2	●機器にS映像端子がないときは、映像コードを接続してください。	
HDMI対応機器	HDMI対応：HDMIケーブル	HDMI 1～3（DVI対応機器は2）	●DVI対応機器などで音声を楽しみたいときは、ビデオ入力2の音声入力端子に音声コードを接続してください。	
パソコン	ミニD-Sub15Pケーブル 音声コード（音声出力があるとき）	パソコン入力 ビデオ入力 2	●本機が対応しているパソコン信号（ガイド112）	接続ガイド 8

■HDMI端子について
- ●HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。
- ●HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。アナログ音声をお使いになる場合、HDMI2とビデオ入力2の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」が必要です。
  - ●対応している映像信号
    480i、480p、720p、1080i、1080p（24 Hz/59.94 Hz/60 Hz）
  - ●対応している音声信号
    種類：リニアPCM、サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

機器	ケーブル	端子	注意	参照
ビデオカメラ デジタルカメラ	S映像コード 映像/音声コード	S2映像入力 ビデオ入力 3	●機器にS映像端子がないときは、映像コードを接続してください。	接続ガイド 9

お好みで設定できます

■HDMI音声入力設定（ガイド822）
DVI対応機器でビデオ入力2の音声入力端子に接続したとき、アナログ音声が楽しめます。

■ビデオ入力表示書換（ガイド822）
「入力切換」ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えます。

■デジタル音声出力（ガイド822）
ドルビーデジタル、AAC対応のオーディオ機器を接続したとき、出力の種類を選びます。

■入力自動スキップ（ガイド823）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、接続していない端子を飛ばします。

■PCスキップ（ガイド823）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「PC」を飛ばします。設定後にパソコンを接続したときは、「オフ」に戻してください。

■HDMIスキップ（ガイド823）
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「HDMI」を飛ばします。設定後にHDMI対応機器を接続したときは、「オフ」に戻してください。

■ビデオ入力端子について（背面：ビデオ入力1～2、左側面：ビデオ入力3）
●ビデオデッキなどの映像と音声の出力端子に接続します。

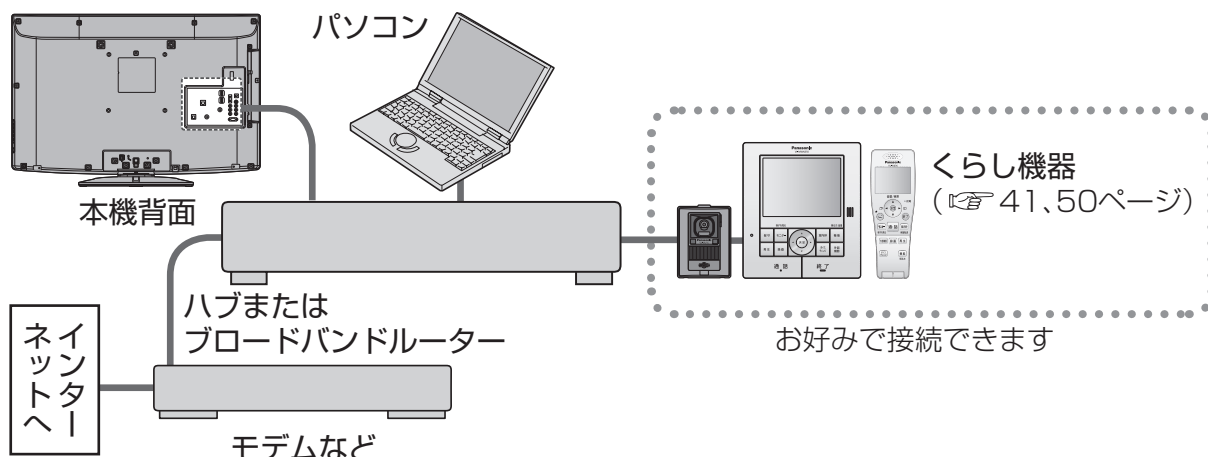
S2映像入力端子（ビデオ入力2、3のみ）
- ●「映像」入力端子よりも、色のにじみが少なく、高画質に再生できます。
- ●再生機器の「S」「S1」「S2」出力端子と接続します。
  - ●S端子　：色のにじみが少ない
  - ●S1端子：Sにワイドテレビ対応を追加
  - ●S2端子：S1にワイドクリアビジョン対応を追加
- ●「S2映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「S2映像」の画像が優先されます。
- ●「S2映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

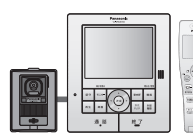
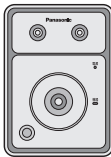
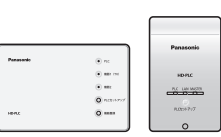
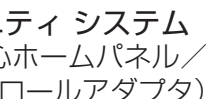
D4映像入力端子（ビデオ入力1のみ）
- ●「S2映像」入力端子よりも、さらに色のにじみが少なく高画質に再生できます。
- ●DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
- ●ビデオデッキなどの「Y、PB、PR」「Y、CB、CR」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ピンケーブル（RP-CVCDG15：別売品）で接続できます。
- ●対応している信号：480i、480p、1080i、720p
- ●「D4映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

（お知らせ）
●ビデオ入力端子を同時に接続したときの優先順位は、①D4映像入力 ②S2映像入力 ③映像入力の順となります。

ネットワーク機器の接続・設定

電子説明書の使いかた
（☞ 8ページ）

アクトビラ（インターネット）

●接続のしかた（☞ 接続ガイド10）

接続後の設定

■かんたんネットワーク設定

●28ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、画面に従う。
●個別に設定するとき：ネットワーク設定（ガイド753）
　　　　　　　　　　　ブラウザ設定（ガイド768）

（お知らせ）

●光ファイバー(FTTH)、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約（有料）していただく場合があります。詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。
●プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合せによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
●無線LANをお使いの場合は、無線LAN機器の取扱説明書に従って、適切なセキュリティー設定を行ってください。
●電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因となります。
●ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。
●アクトビラの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTTH)でのブロードバンド環境が必要です。
・100BASE-TX対応のハブまたは、ブロードバンドルーターをご使用ください。
・本機とFTTH回線終端装置の間の通信に、PLCや無線LANを使わないでください。
●本機ではインターネット(LAN)接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
●本機に接続したDHCPでのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。
本機のご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
●本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続していると き、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。時間をおいて（約3分間）再度試してください。
●SDメモリーカード挿入口に、無線LAN対応カードを接続しても使えません。
●本機のMACアドレスの確認は（ガイド758）

くらし機器

接続する機器		特長	参照
当社製 テレビドアホン		●本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。	接続ガイド10
当社製 センサーカメラ		●デジタルビデオカメラなどにセンサーを搭載し、反応したときに撮影します。 ●本機に接続すると、テレビ画面に画像を表示して、屋外や離れた部屋の様子を確認できます。	
当社製 ドアホン用 PLCアダプター		●本機とドアホンをPLCアダプターを利用して接続すると、ドアホンからの画像をテレビ画面に表示します。 ●PLCとは、既存の電力線（屋内電気配線）を利用して、データ通信を行う新しい技術です。 ●電力線の使用状態によっては、使用できないまたは、通信が不安定なコンセントがあります。	
パナソニック電工株式会社製	ネットアダプタ （玄関番用）	●本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像を表示して来客を確認できます。	
パナソニック電工株式会社製	ライフィニティ システム （くらし安心ホームパネル／宅内コントロールアダプタ）	●「ライフィニティ」とは、住戸内の各設備機器をLANで接続することで実現する、安心・便利なくらしの形です。	

接続後の設定

■かんたんネットワーク設定

●28ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、画面に従う。
●個別に設定するとき：くらし機器を有効にする（ガイド774）
　　　　　　　　　　　ビエラリンクメニューに表示する（ガイド778）

■くらし機器映像の自動表示（ガイド773）
呼び出し時に、自動で画像を表示したいとき。

■通知時の表示サイズ（ガイド773）
呼び出し時の画像の表示サイズを選びたいとき。

■通知表示設定（ガイド773）
ドアホン来客時やセンサーカメラ検知時に、通知を受けたいとき。

インターネットを使う（アクトビラ）

電子説明書の使いかた（☞8ページ）
※アクトビラ中は表示できません。

まず、ご確認を。
- 接続はお済みですか？（☞接続ガイド10）
- かんたんネットワーク設定はお済みですか？（☞28ページ）

ステータス表示

文字切換・変換など

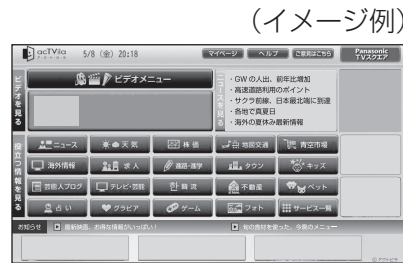
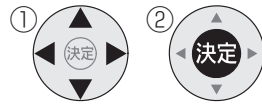
文字入力

アクトビラ終了

アクトビラの基本操作

1 「アクトビラ」を押す

（イメージ例）

- ポータルサイトを表示。

2 見たい項目を選び「決定」を押す

選んでいる項目が強調される

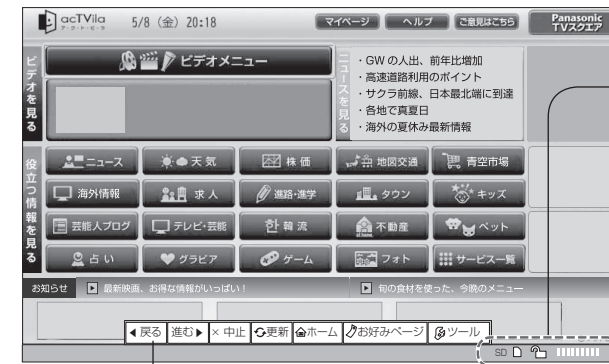
- ①と②を繰り返し、見たい情報のホームページへ。

■ポータルサイトに戻るとき アクトビラ を押す。

■終了するとき 元の画面 または チャンネル を押す。
（テレビ画面に戻る）

初めて使うときは

アクトビラ を押すと端末情報が送信されます。
アクトビラのご案内画面の指示に従ってください。
- 長期間ポータルサイトを表示しなかったときも、ご案内画面が表示されることがあります。
- 端末情報は、郵便番号（かんたん設置設定で登録）や端末の識別 ID（本機に組み込まれた番号）が含まれます。

■画面の見かた

ステータス表示（画面表示 を押すと表示）

SDカード内のページを見ているとき

ページの読み込み状況（読み込みに時間がかかる場合があります）

ページのセキュリティ
：通常
：セキュリティで保護

ネット操作パネル（サブメニュー を押すと表示 ☞44ページ）

◀戻る　進む▶　× 中止　更新　ホーム　お好みページ　ツール

■動画コンテンツについて
- 有料サービスの場合があります。
- ご利用環境・通信速度などにより、映像が乱れたり途切れる場合があります。
- 購入履歴など個人情報の削除は「個人情報リセット」（ガイド 742）

■ページの音声再生について（音声コンテンツがある場合）
- モノラルで再生されます。動画コンテンツは、コンテンツの音声形式に従って再生されます。
- 再生できる音声形式は（ガイド 202）

■個人情報について
- クレジットカードの番号や氏名などを入力するときは、ページの提供者が信用できるか十分注意してください。
- 登録した情報は、ホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合は登録時の規約などに従って、必ず消去してください。

表示させるホームページを制限したいとき

①「メニュー」を押す。
②▼で「設定する」を選び、「決定」を押す。
③▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す。
④▼で「制限項目設定」を選び、「決定」を押す。
⑤暗証番号を入力する。（ガイド387）
⑥▼で「ブラウザ制限」を選び、◀▶で設定を選ぶ。

設定	内容
すべて制限	インターネットの利用に暗証番号の入力が必要
アドレス入力制限	アドレス入力に暗証番号の入力が必要
無制限	接続制限なし（暗証番号の入力が不要）

⑦「元の画面」を押して、テレビ画面に戻す。
（設定内容は、一旦アクトビラを終了しないと反映されません）

ネット操作パネルを使う(アドレス入力)

アクトビラ中に サブメニュー(S) を押すと、
画面下に「ネット操作パネル」を表示

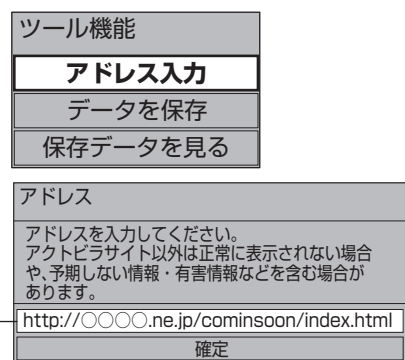
■使う項目を選ぶとき ◀▶を押して選び、「決定」を押す。

■消すとき サブメニュー(S) を押す。

アドレスを入力してホームページを見る

①上記のネット操作パネルから「ツール」を選び、「決定」を押す

②▼で「アドレス入力」を選び、「決定」を押す

③アドレス(URL)を入力する
(文字入力☞46 ～ 48 ページ)

④「確定」を選び、「決定」を押す

(お知らせ)

●アクトビラのコンテンツ以外のホームページは、正確に表示されないことがあります。
また、予期しない情報や有害な情報が含まれる場合があります。
●表示させるホームページを制限するには(☞43ページ)

(お好みページを使う)

電子説明書の使いかた(☞8 ページ)
※アクトビラ中は表示できません。

「お好みページ」に登録する (20 件まで)

① 44 ページの「ネット操作パネル」から「お好みページ」を選び、「決定」を押す

② 青 を押す

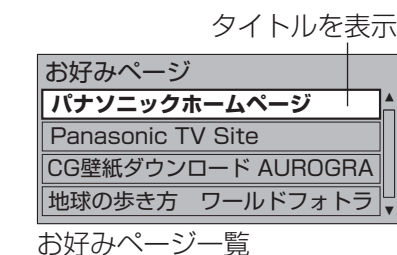
③内容を確認して「決定」を押す

●「これ以上登録できません」と表示されたときは、不要なお好みページを選び「黄」ボタンを押し、「はい」を選んで、「決定」を押すと削除されます。

「お好みページ」を呼び出す・編集する・削除する

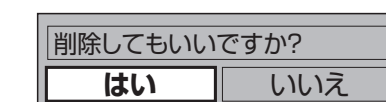
① 44 ページの「ネット操作パネル」から「お好みページ」を選び、「決定」を押す

②お好みページ一覧から▲▼でページを選び、「決定」を押す

●ページが表示されます。

■タイトルやURLを変更するとき

1) お好みページ一覧から変更したいページを▲▼で選び、「緑」ボタンを押す。
2) 「タイトル」または「URL」を選び、「決定」を押す。
3) 文字を削除し、入力し直す。(文字入力☞46 ～ 48 ページ)
4) 「決定」を押す。
5) 確認したら「戻る」を押す。

■削除するとき

1) お好みページ一覧から削除したいページを▲▼で選び、「黄」ボタンを押す。
2) 確認画面で◀を押し「はい」を選び、「決定」を押す。
3) 確認したら 「戻る」 を押す。

(お知らせ)

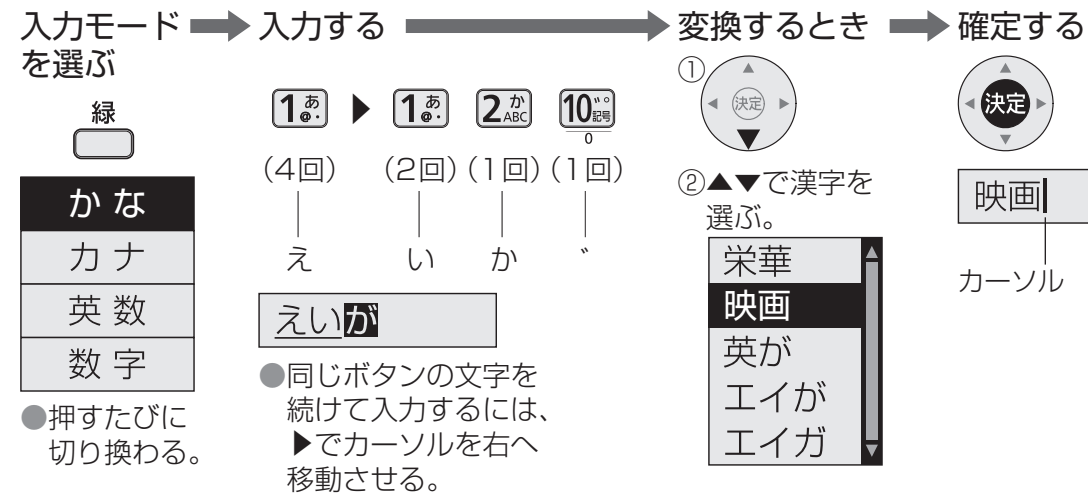
●登録したホームページが提供者の都合でなくなったり、アドレス(URL)が変更された場合は表示されません。
●「個人情報リセット」(ガイド 742)を行うと、すべて削除されます。

文字を入力する

文字入力方式には２種類あります。

リモコンボタン(携帯電話)方式（工場出荷時）

リモコンの数字ボタンを使い、
携帯電話と同じような操作で入力します。

●文字入力一覧表（☞48 ページ）

■文節を分けて変換するとき

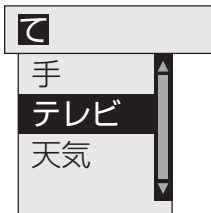
▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▼で変換する。

えいが

■記号を入力するとき

「きごう」と入力し、▼で記号を選ぶ。

■「予測方式」のとき（「予測方式」／「通常方式」の切り換えは☞48 ページ）

① 1文字入力すると候補を表示。
②▼▲で選び、「決定」を押す。

●「緑」ボタンを押すと、
一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき

英数モード(半角)で入力し、▼で変換する。

■文字を追加するとき 追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。

■文字を削除するとき 削除する文字に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

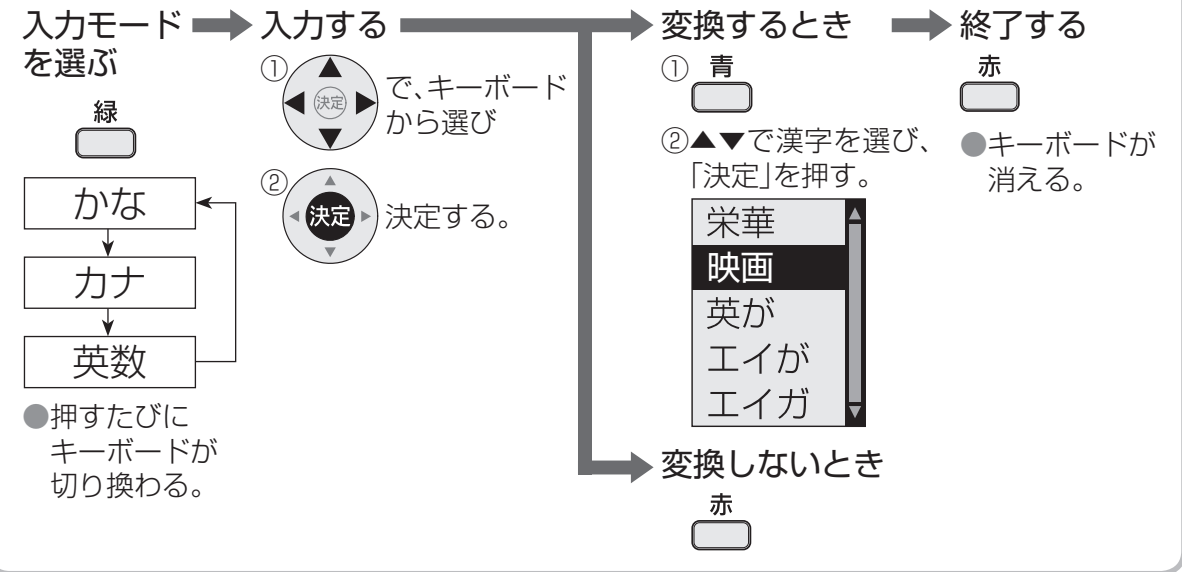
画面キーボード方式（文字入力方式の選択☞48 ページ）

改行	ー	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
空白	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
キーボード移動	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
入力位置移動	!	つ	え	、	れ	゛	め	へ	ね	て	せ	け	え
	?	わ	お	。	ろ	゜	も	ほ	の	と	そ	こ	お

操作ガイド

●キーボードの位置を移動させるときは、
◀▶▲▼で「キーボード移動」を選び、「決定」を押す。
（左下または右上に移動）

画面上にキーボードを表示して
◀▶▲▼で文字や項目を選び、
入力します。

●キーボードを消すときは、
「赤」ボタンを押す。

■文節を分けて変換するとき

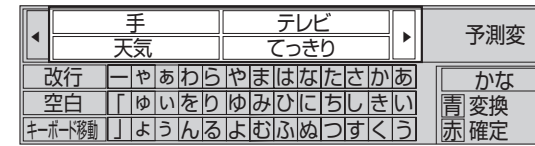
「青」ボタンで変換中に◀▶で文節を切り換え、▼で変換する。

■記号を入力するとき

「きごう」と入力して「青」ボタンを押し、▼で記号を選ぶ。

■「予測方式」のとき（「予測方式」／「通常方式」の切り換えは☞48 ページ）

①文字を選び「決定」を押すと、
キーボード上に候補を表示。

②◀▶▲▼で選び、「決定」を
押す。

●「青」ボタンを
押すと、一時的に
通常方式の変換
に戻る。

■全角の英数字を入力するとき

英数モード(半角)で入力し、「青」ボタンを押して変換する。

■文字を追加するとき ①キーボードの「入力位置移動」を選び、「決定」を押す。
②追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、「決定」を押す。
③文字を入力する。

■文字を削除するとき 上記の②で削除する文字に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

文字を入力する（つづき）

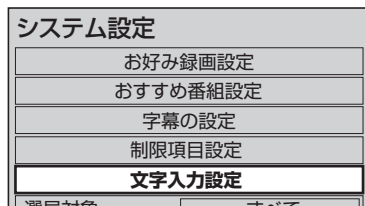
文字入力方法や変換方式を選ぶ

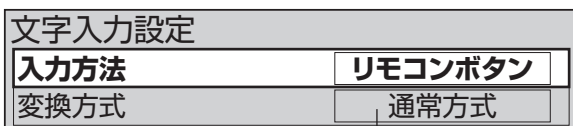
① メニュー を押す

②▼で「設定する」を選び、「決定」を押す

③▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す

④▼で「文字入力設定」を選び、「決定」を押す

システム設定
- お好み録画設定
- おすすめ番組設定
- 字幕の設定
- 制限項目設定
- **文字入力設定**

⑤■入力方法を選ぶ場合：
　▼で「入力方法」を選び、◀▶で「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選ぶ
　■変換方法を選ぶ場合：
　▼で「変換方法」を選び、◀▶で「通常方式」または「予測方式」を選ぶ

文字入力設定	
入力方法	**リモコンボタン**
変換方式	通常方式

1文字の入力で変換候補を表示したいときは「予測方式」を選ぶ（☞ 46、47ページ）

（終わったら 戻る を数回押す）

リモコンボタン方式での文字入力一覧表

ボタン＼入力モード	かな	カナ	英数	数字
1 あ @.	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : ˜ _ 1	1
2 か ABC	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3 さ DEF	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4 た GHI	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5 な JKL	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6 は MNO	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7 ま PQRS	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8 や TUV	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9 ら WXYZ	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10 ゛゜記号 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	ー , ; ’ ” ? ! ( ) & ¥ 0	0
11 わをん ␣ *	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
12 改行 #	改行	改行	改行	#

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは 1 を 2 回押す）
　未確定の文字があるときに、12 を押すと表の逆順で文字が変わります。
●濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて 10 を押す。

画像やページを SD（エスディー）メモリーカードに保存する

SDメモリーカードに保存する

SDメモリーカードを、本機に挿入しておいてください。（☞14ページ）

①保存したい項目を選び、サブメニュー S を押す

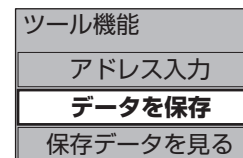
●選んだ項目のハイパーリンク先を保存します。

② ▶で「ツール」を選び「決定」を押す

◀戻る | 進む▶ | × 中止 | 更新 | ホーム | お好みページ | **ツール**

③▼で「データ保存」を選び「決定」を押す

④「このディレクトリに保存」を選び「決定」を押す

ツール機能
- アドレス入力
- **データを保存**
- 保存データを見る

■保存する場所を指定するとき
1）▲▼でディレクトリを選び、「決定」を押す。
2）「決定」を押して保存する。

ディレクトリ

1つ上のディレクトリへ		
image		
date		
guidemap.gif	2003/07/04	739
guidemap.htm	**2003/07/04**	**18402**
index.html	2003/06/04	947
mountain.jpg	2003/08/11	929574

アクトビラで保存したSDメモリーカードのページ／画像を見る

SDメモリーカードを、本機に挿入しておいてください。（☞14ページ）

①アクトビラ中に サブメニュー S を押し、▶で「ツール」を選び「決定」を押す

②▼で「保存データを見る」を選び「決定」を押す

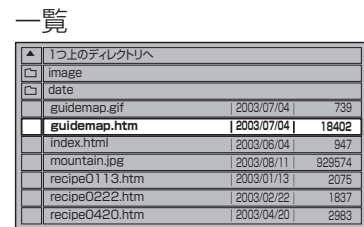
③ファイル名が分かるときは入力する（文字入力☞46 ～ 48 ページ）
　分からないときは「決定」を押す

●画面キーボードが表示されているときは、「赤」ボタンを押す。

④「確定」を選び、「決定」を押す

⑤一覧から▲▼で選び、「決定」を押す

一覧

1つ上のディレクトリへ		
image		
date		
guidemap.gif	2003/07/04	739
guidemap.htm	**2003/07/04**	**18402**
index.html	2003/06/04	947
mountain.jpg	2003/08/11	929574
recipe0113.htm	2003/01/13	2075
recipe0222.htm	2003/02/22	1837
recipe0420.htm	2003/04/20	2983

お知らせ

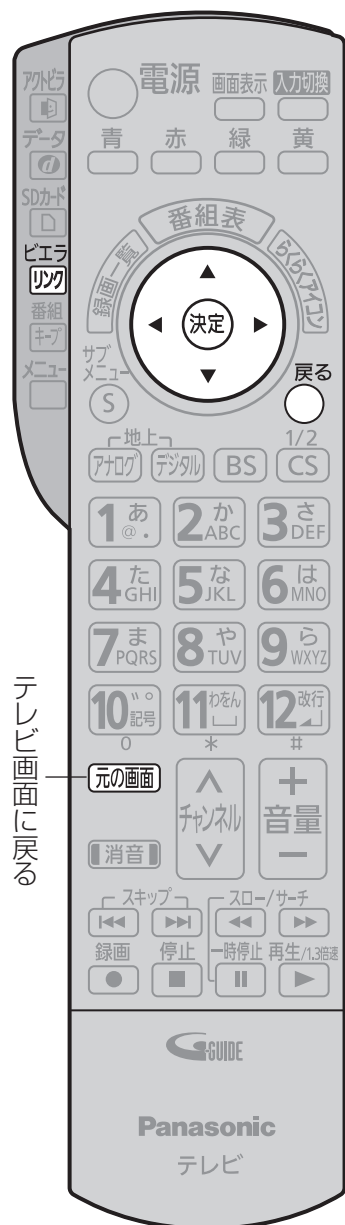
●「SDカード」ボタンを押すと、アクトビラが終了します。
●見たままの形で保存することはできません。
●表示できるデータ形式はHTML、JPEG、PNG、GIFです。ただし、2 GB以上のファイル、50万画素以上の画像、参照データのないHTMLファイルなどは表示できないことがあります。
●SDメモリーカード使用中は、電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。
●アクトビラのページでデータ送信を要求されたときは、SDメモリーカードを挿入し、ファイルを選んで「決定」を押して説明に従って操作してください。（送るデータと相手先を確認してください）
●SDメモリーカードのデータ削除は、パソコンなどで行ってください。
●デジタルカメラなどの写真を見るときは（ガイド120）

くらし機器を使う

電子説明書の使いかた（☞8ページ）

まず、ご確認を。

●接続はお済みですか?（☞接続ガイド10）
●かんたんネットワーク設定はお済みですか?（☞28ページ）

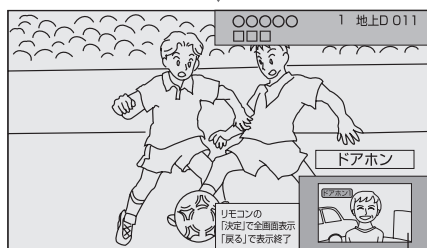
テレビ画面に戻る

くらし機器からの通知を受ける

テレビドアホンなどからの通知が表示されたら「決定」を押す

例：テレビドアホン

通知

くらし機器の画像を表示（「決定」を押すと拡大）

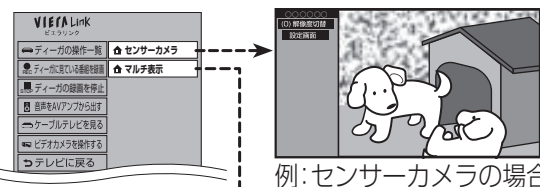
●「くらし機器映像の自動表示」を「する」に設定していると、自動的に画像を表示します。（ガイド773）

確認したら 戻る を押す

●「戻る」を押さなかったときは、最大3分以内に表示が消えます。

くらし機器の画面を見る

1 「ビエラリンク」を押す

ビエラ リンク

2 くらし機器を選び「決定」を押す

例：センサーカメラの場合

例：マルチ表示の場合

●マルチ表示は、ビエラリンク設定の画面（ガイド782）で「マルチ表示」が「可」になっている機器のみです。

（終わったら 元の画面 を押す）

くらし機器からの通知や画像について

●約1秒ごとに更新しながら画像が表示されます。（動画ではありません）
●H.264対応センサーカメラの場合は動画と音声が出ます。
●ネットワークの状態や設定によって正常に動作しない場合があります。
●本機からの応答はできません。
●画像の表示中は、チャンネルや入力の切り換え、メニュー操作はできません。
●本機の電源を入れた直後は、通知や画像が表示されないことがあります。約1分（DHCP機能付のルーターを使用していないときは約3分）お待ちください。
●「通知時の表示サイズ」を「全画面」に設定していると、くらし機器からの動画／画像は画面全体に拡大して表示されます。（ガイド773）
●2画面での視聴中にくらし機器からの動画／画像を確認したあと「戻る」を押すと、1画面になります。
●ドアホン側で応答したときは、ドアホンから送られてくる画像が消え、元の画面に戻ります。
●以下の場合、くらし機器の画像を確認した後に「戻る」を押すとテレビ画面に戻ります。
　●内蔵ハードディスク再生中　●番組表表示中　●アクトビラ使用中
　●SDメモリーカードの動画や画像表示中　●データ放送表示中
●録画中にくらし機器からの画像を確認すると、これまで見ていた画面が映らないことがあります。（録画中の画面のみご覧になれます）

対応するくらし機器の品番

機器	品番
当社製テレビドアホン	ワイヤレスモニター付　VL-SWN350KL パーソナルファクス付　VL-SWN355KL (2009年5月現在)
当社製センサーカメラ	VL-CM140　VL-CM140KT VL-CM160　VL-CM160KT　VL-CM100 (2009年5月現在)
当社製 H.264対応センサーカメラ	VL-CM210　VL-CM240　VL-CM260 (2009年5月現在)
当社製 ドアホン用PLCアダプター	VL-SP880(2009年5月現在) ※対応するドアホンはアダプターの取扱説明書をご覧ください。

■パナソニック電工株式会社製

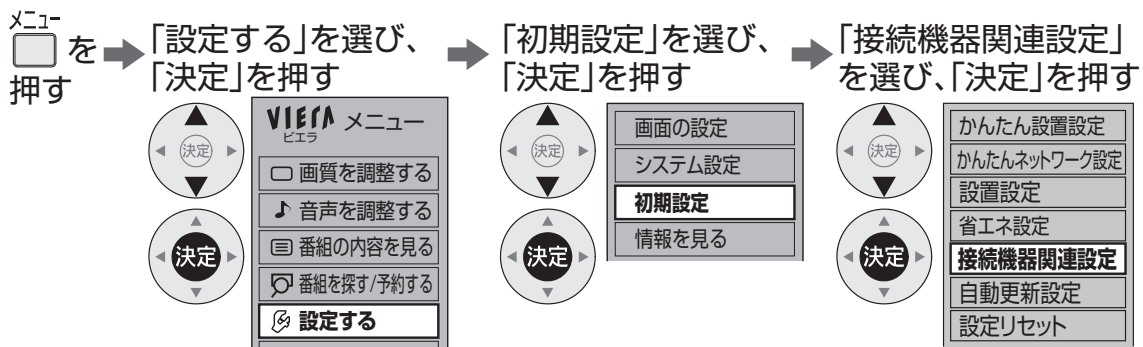
ネットアダプタ（玄関番用）	詳細については http://panasonic.jp/Lif をご覧ください。
ライフィニティ システム（くらし安心ホームパネル／宅内コントロールアダプタ）	

メニュー一覧

ガイド ? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、テレビ画面に表示します。

操作のしかた

例:「接続機器関連設定」

メニュー を押す ➡ 「設定する」を選び、「決定」を押す ➡ 「初期設定」を選び、「決定」を押す ➡ 「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す

メニュー	内容	参照
画質を調整する	番組に合わせて、画質をお好みで調整する。(映像メニュー･バックライト･ピクチャー･黒レベル･色の濃さ･色あい･シャープネス･液晶AI･色温度･ビビッド･色域自動切換･NR･HDオプティマイザー･明るさオート･テクニカル)	301
音声を調整する	番組に合わせて、音声をお好みで調整する。(音声メニュー･バス･トレブル･バランス･サラウンド･音量オート･イコライザー･低音補正･音量補正)	311
番組の内容を見る	視聴中の番組の内容を確認する。	454
番組を探す/予約する	見たい番組を探したり、録画予約する。(番組表で･注目番組一覧･今放送中から･おすすめ一覧･ジャンル別に･キーワードで･人名で･時間指定予約で･予約一覧)	405
設定する		
画面の設定	画面の垂直(上下)の位置やサイズを微調整する。(垂直位置／サイズ[PC画面調整]･水平表示領域･HD表示領域･セルフワイド･ID-1検出･ED2検出･3次元Y/C分離･480p色マトリックス･サイドカット固定･デジタルシネマリアリティ･Wスピード)	360
システム設定		
お好み録画設定	ジャンルや人名、録画する時間帯などを指定して、お好みの番組を自動で録画する。	380
おすすめ番組設定	好みを学習しておすすめ番組を知らせる機能を使う。おすすめ通知のしかた、通知する番組数などが選べる。	043
字幕の設定	字幕や文字スーパーを表示する。	380
制限項目設定	視聴できる番組や、アクトビラで表示するホームページを制限する。(視聴可能年齢･ブラウザ制限･暗証番号変更･暗証番号削除)	397
文字入力設定	文字入力の方法を選ぶ。(入力方法･変換方式)	48ページ
選局対象	チャンネル順送りボタンで表示できるチャンネルを選ぶ。	380
右画面操作	2画面のとき、右画面操作の状態を継続する。	380
音声出力	2画面のとき、聞こえる音声(右または左)を選ぶ。	385
タイトル表示	選局時に、番組のタイトルを表示する。	385
表示の設定	メニューなどの表示の見た目を選ぶ。(表示スタイル･アニメーション)	385
録画･視聴設定	次回以降の放送を自動的に予約する(探して毎回予約)、録画ボタン設定、録画番組の自動消去、オートチャプター、ワンセグ同時録画設定	385

メニュー	内容	参照
初期設定		
かんたん設置設定(「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、設置設定を画面に従って順にやり直す。	28ページ
かんたんネットワーク設定(「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、ネットワーク設定を画面に従って順にやり直す。	28ページ
設置設定(「決定」を3秒以上押す)	受信する放送局の修正、アンテナレベルの調整、ネットワークの設定など。(受信対象設定･チャンネル設定･番組表設定･地域設定･受信設定･電話設定･クイックスタート･B-CASカードテスト･ネットワーク設定･ブラウザ設定･くらし機器設定)	703
省エネ設定	使わないときに自動的に電源を切ったり、明るさを押さえる。(無信号自動オフ･無操作自動オフ･消費電力･HDD機能待機)	350
接続機器関連設定	ビエラリンク対応機器や外部機器を接続したときの設定。(ビエラリンク(HDMI)設定･HDMI音声入力設定･ビデオ入力表示書換･デジタル音声出力･入力自動スキップ･PCスキップ･HDMIスキップ)	36ページ 822
自動更新設定	デジタル放送からの情報ダウンロードの方法を選ぶ。	750
設定リセット(「決定」を3秒以上押す)	設定項目リセット･個人情報リセット･HDDのフォーマット･SDカードのフォーマット(廃棄時などに、情報をすべて削除するには「個人情報リセット」をしてください。)	742
情報を見る	デジタル放送からのお知らせや、本機の情報などを見る。(放送メール･双方向通信一覧･B-CASカード･ID表示･ボード)	160
機器を操作する		
ビエラリンク		
ディーガの操作一覧 ディーガに見ている番組を録画 ディーガの録画を停止 音声をAVアンプから出す	本機のリモコンで、ビエラリンク対応機器を操作する。 ●接続している機器によって、表示内容が変わります。 ●ビエラ リンク でも表示できます。	480
SDカード		
スライドショー開始 写真を見る ビデオ一覧を見る	SDメモリーカードに保存したデータを見る。 ●SDカード でも表示できます。	120
持ち出せる番組一覧	内蔵ハードディスクに保存したワンセグ放送の一覧を見る。	172
持ち出した番組一覧	SDメモリーカードにダビングしたワンセグ放送の一覧を見る。	136
HDD		
録画一覧	録画した番組の一覧を見る。	605
放送メール	未読の情報があるときのみ表示。	160
ネットで使い方ガイド	インターネット上の使い方ガイドを見る。(アクトビラの接続とネットワーク設定が必要)	201
タイマー		
オンタイマー	タイマーで自動的に電源を入れる。(オンタイマー「入」「切」、時刻、音量、放送／入力、チャンネル)	357
オフタイマー	タイマーで自動的に電源を切る。(30分後にオフ･60分後にオフ･90分後にオフ)	357

故障かな！？／商標などについて

■故障かな！？（電子説明書の「困ったとき」もあわせてご覧ください。）

●映像が出ないなど表示がおかしい、また急にリモコンが操作できなくなった
・本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源ボタンで「切」にし、約5秒以上後に再度電源を「入」にしてください。
※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。

●電源が入らない
・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？（☞22ページ）
・リモコンの場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか？（☞16ページ）

●リモコンで操作できない
・チャンネルボタンを押したとき、リモコンの放送切換ボタンが点滅していますか？（☞17ページ）
・電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？（☞17ページ）
・リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？（☞16ページ）
・受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。
→本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。

●たばこの煙や殺虫剤の煙、ほこりなどが本機の内部に入ると、故障の原因となります。
●内蔵ハードディスク動作中（再生、録画中など）に、本体の電源を切ったり、振動や衝撃（本機の移動、回転など）を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。
<本体で電源を切るときは>
①リモコンの「停止」ボタンを押す
②HDDランプ（☞16ページ）が消えているか、または橙色点灯中であることを確認する
③本体の電源を切る

■商標などについて

●SDHCロゴは商標です。●CP8 PATENT　●HDAVI Control™は商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
●本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC規格に準拠する動画（以下、AVCビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)を参照ください。
●本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり改造することも禁じられています。
●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
●Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
●米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド（EPG）が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド（EPG）の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

■キャビネットやディスプレイパネルの汚れは付属のクリーニングクロスで軽くふく
●ひどい汚れは、水で100倍にうすめた中性洗剤にひたしたクリーニングクロスをかたく絞ってふき取ってください。

■スプレー洗剤などを直接かけない

水が内部に入ると、故障の原因になります。

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない
●キャビネットが変質したり塗装がはがれます。

■ゴムやビニール製品などを長時間接触させない
●キャビネットが変質する原因となります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

設置されるとき

■直射日光を避け、熱器具から離す
●キャビネットの変形や故障の原因になります。

■機器相互のかんしょうに、ご注意を
●電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけます。

■接続は電源を"切"にしてから
●各機器の説明書に従って、接続してください。
（オーディオ機器、録画機器、ゲーム機器、オーディオアンプなど）

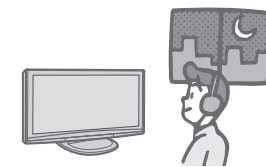
■アンテナは定期的な点検を
●風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。映りが悪くなったら、販売店にご相談を。

■良好な画面で見るために
●アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

長時間使用しないときは

■電源プラグをコンセントから抜いてください
●リモコンで電源を切った場合は約 0.1 W、本体の電源を切った場合は約 0.07 Wの電力を消費します。

ご使用になるとき

■適度の音量で、隣り近所への配慮を

●特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
●音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。

■見る距離と部屋の明るさは
●画面の縦の長さの約3倍程度、また、新聞が楽に読める明るさで。

液晶パネルについて

■画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません
●液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

■液晶パネルの表面は特殊な加工をしています
●固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

■残像が発生する場合があります
●静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

Quick Reference Guide

Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance, what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.
- The instructions and illustrations indicated below are for the TH-L37R1.

仕様

● このテレビを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体			
品番		TH-L37R1(37V型)	TH-L32R1(32V型)
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
使用電源		AC100 V 50／60 Hz	
消費電力		130 W	120 W
		本体電源「切」時 約 0.07 W、リモコンで電源「切」時 約 0.1 W(データ取得時※は除く) (クイックスタート「オン」設定時、またはデータ取得時※ 約 20 W HDD予約録画実行時 最大約 23 W) ※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき	
年間消費電力量		116 kWh/年(スタンダード時)	90 kWh/年(スタンダード時)
区分名		BKK	BGG
受信可能放送		VHF：ch1～12／ UHF：ch13～62 ／ CATV：c13～c63／BSデジタル 110度CSデジタル ／ 地上デジタル (CATVパススルー対応) ※ワンセグ放送は録画のみ	
内蔵ハードディスク容量		250 GB(録画可能領域は250 GBより少なくなります。)	
音声実用最大出力		20 W(10 W+10 W)JEITA	
スピーカー		フルレンジ：4.2 cm×16 cm 2個	
液晶ディスプレイ(アスペクト比16:9)		37V型 画素数：水平1920×垂直1080	32V型 画素数：水平1366×垂直768
画面寸法		幅 81.9 cm 高さ 46.1 cm 対角 94.0 cm	幅 69.8 cm 高さ 39.2 cm 対角 80.0 cm
動作使用条件		周囲温度：0℃～40℃ 、 相対湿度：20%～80% (結露なきこと)	
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力1～3 (ビデオ入力1はS2映像なし) ［S2映像：輝度・色信号分離(75 Ω) 映像：1 V[p-p](75 Ω) 音声 ：左・右 0.5 V[rms]	
	D端子ビデオ関連	●D4映像〔Y：1 V[p-p](75 Ω)、PB/CB：0.7 V[p-p](75 Ω)、PR/CR：0.7 V[p-p](75 Ω)〕 音声：左・右 0.5 V [rms](音声はビデオ入力1と兼用) 入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式	
	衛星関連	●BS･110度CS-IF入力(75 Ω) 兼 衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力	
	パソコン入力	●RGB(ミニD-sub15P) 音声：左・右 0.5 V[rms] (音声入力はビデオ入力2と兼用) 表示画素数、対応信号について (ガイド112)	
	HDMI入力	●HDMI端子 3系統 (本機はビエラリンク[HDMI]Ver.4に対応しています。) 対応信号について (☞38ページ)	
	その他	●光デジタル音声出力端子：－18 dBm 660 nm ●モジュラー端子(電話回線)：2400 bps、MNP4(着呼機能なし) ●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) ●ヘッドホン/イヤホン(16～32 Ω推奨) ●SDメモリーカード挿入口(SDHCメモリーカード対応)	
外形寸法	スタンド部含む	幅 89.4 cm 高さ 61.1 cm 奥行 28.7 cm	幅 77.7 cm 高さ 54.1 cm 奥行 21.7 cm
	本体のみ	幅 89.4 cm 高さ 56.8 cm 奥行 9.9 cm	幅 77.7 cm 高さ 50.1 cm 奥行 9.5 cm
質量	スタンドあり	約 18.0 kg	約 14.0 kg
	スタンドなし	約 15.5 kg	約 12.5 kg
キャビネット材質		樹脂	
角度調整範囲		左右：約15°	

● 年間消費電力量：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算定した、一年間に使用する電力量です。
● 区分名：省エネルギー法によるテレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無等に基づいた区分の名称です。
● テレビのV型(37V/32V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
● 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

リモコン(品番:N2QAYB000443)	使用電源	DC3 V (単3形乾電池2コ)	操作距離	約7 m以内 (テレビ正面距離)
	質量	約150 g (乾電池含)	操作範囲	左右各約30° 以内 上下各約20° 以内

保証とアフターサービス

修理・使いかた・お手入れ などは…

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(　　)　　－
お買い上げ日	年　　月　　日

修理を依頼されるときは

54ページの故障かな !? と電子説明書（トップページ）の困ったときに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ
●品　番	TH-
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間 ： お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は ……

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

- お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- 個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
- ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

■各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高　山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天　草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0509